

26.京都府

目次

京都府	26	-	4
1. 丹後医療圏	26	-	10
2. 中丹医療圏	26	-	16
3. 南丹医療圏	26	-	22
4. 京都・乙訓医療圏	26	-	28
5. 山城北医療圏	26	-	34
6. 山城南医療圏	26	-	40

本書の見方

・「偏差値」について

各医療圏の人口当たり医療資源量の相対的な位置づけを知るために、偏差値を用いている。偏差値の計算方法は以下の通り。図表では偏差値の高低をセルの色分けで表示。

$$\text{偏差値} = 50 + 10 \times \frac{(\text{A医療圏のBの値}) - (\text{Bの全国平均値})}{(\text{Bの標準偏差})}$$

※全国平均とA医療圏のBという指標の値が一致すると偏差値が50になるよう、あえて344医療圏の平均でなく、全国平均値を用いて計算している。正確に計算した偏差値とはやや異なるが、指標が全国平均値と一致すると偏差値は50となり、その地域の指標が全国平均より高いか低いかを判断しやすい。

偏差値	65以上	55～65	45～55	35～45	35未満
セルの色					

・出所情報

図表1	人口、65歳以上人口、75歳以上人口(2015年)、高齢者世帯	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月
図表2	要介護者数、要介護3以上人数	平成28年度介護保険事業状況報告(年報)
図表5、6	人口の推移	平成27年国勢調査 人口等基本集計 平成27年10月及び日本の地域別将来推計人口 国立社会保障・人口問題研究所 平成30年3月 を基に各年1月の推計値を算出
	需要の推移	必要なベッド数=(65～74歳人口)×(65～74歳の高齢者施設利用率)+(75～84歳人口)×(75～84歳の高齢者施設利用率)+(85歳以上人口)×(85歳以上の高齢者施設利用率) として算出
図表7	総高齢者施設・住宅定員数	介護保険施設定員(病床)数と高齢者住宅定員数の合計
図表7	介護保険施設定員(病床)数	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数の合計
図表7	高齢者住宅定員数	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム、サ高住(特定施設)の合計
図表8	老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表9	有料老人ホーム、軽費ホーム、グループホーム	
図表10	サ高住(特定施設)、サ高住(非特定施設)	平成30年6月 国土交通省・厚生労働省サービス付き高齢者向け住宅情報提供システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表11	介護職員数(介護施設等)、看護師数(施設)	平成30年6月 厚生労働省 介護サービス情報公表システムより株式会社ウェルネスが二次医療圏別に集計したもの
図表14	在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所	届出受理医療機関名簿 地方厚生局 平成30年12月
図表15	回復期病床数	平成29年度病床機能報告 平成29年7月
図表15	地域包括ケア病床数	平成30年5月地方厚生局
図表17	訪問介護、訪問看護、通所介護、通所リハ、訪問入浴、短期入所、居宅介護支援	平成30年6月 介護サービス情報公表システムに基づいて株式会社ウェルネスが市区町村別に集計したもの

都道府県別の地図および医療圏別の図表13、図表16の地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第1666号)

京都府

■ 人口動態と要介護者の現状

京都府は、人口2,610,353人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は718,949人、高齢化率(65歳以上人口割合)は28%と全国平均レベルである。

要介護数(認定者)は104,611人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は50,171人、要介護者数に占める割合は48%と全国平均レベルである。

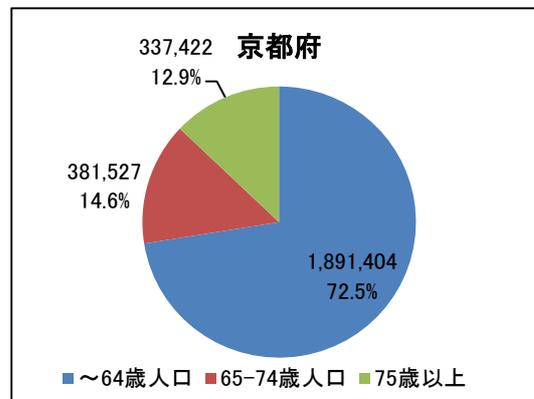
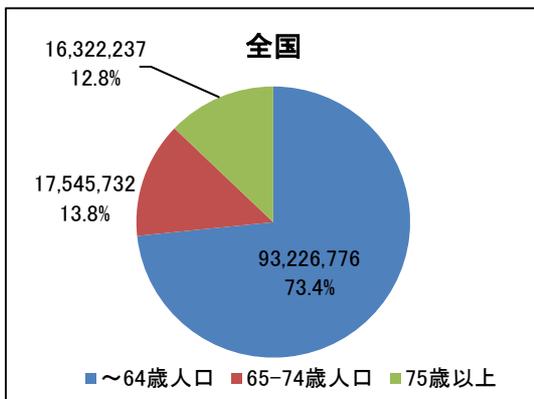
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
京都府	2,610,353	718,949	337,422	28%	52	393,928	35%	35%

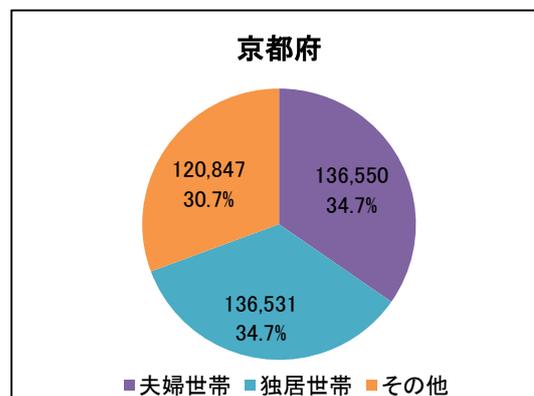
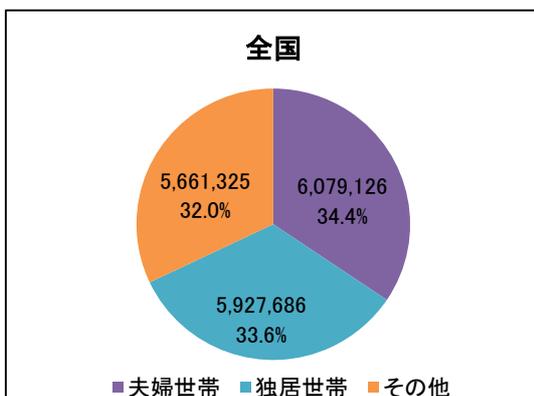
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
京都府	104,611	15%	56	50,171	48%	49

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



京都府

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、京都府の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が330,629(232,018+98,611)人であるが、ピーク時の2030年には486,069人まで増加すると推計され、2015年比47%増加する。

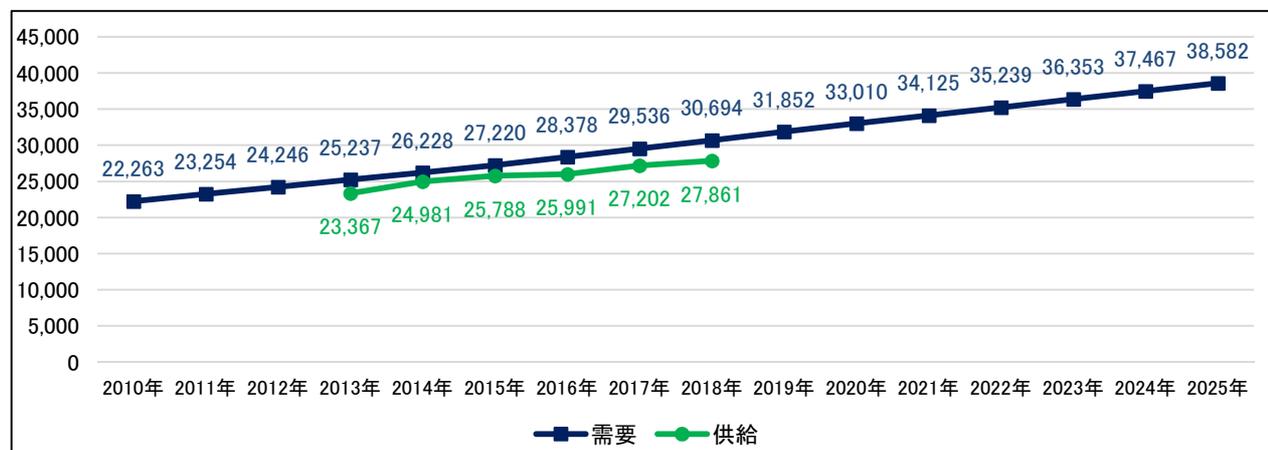
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、京都府の施設需要のピークは2035年の48,744人であり、2015年の27,220人と比べ、79%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、京都府の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要26,228人、供給24,981人と「供給<需要(-5%)」である。2018年は需要30,694人、供給27,861人と「供給<需要(-9%)」である。京都府の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の需要と供給が拮抗する状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



京都府

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、28,101人(75歳以上1,000人当たりの偏差値45)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が21,368床(偏差値52)、高齢者住宅等が6,733床(偏差値42)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設48、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設63、有料老人ホーム45、軽費ホーム46、グループホーム44、サ高住(特定施設)52である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値46と全国平均レベルをやや下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値51と全国平均レベルである。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
京都府	28,101	1.9%	83	45	21,368	2.1%	63	52	6,733	1.4%	20	42

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
京都府	7,187	2.0%	21	48	11,270	2.0%	33	48	2,911	4.9%	8.6	63

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
京都府	2,977	1.3%	8.8	45	229	1.0%	0.7	46	2,973	1.5%	8.8	44

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

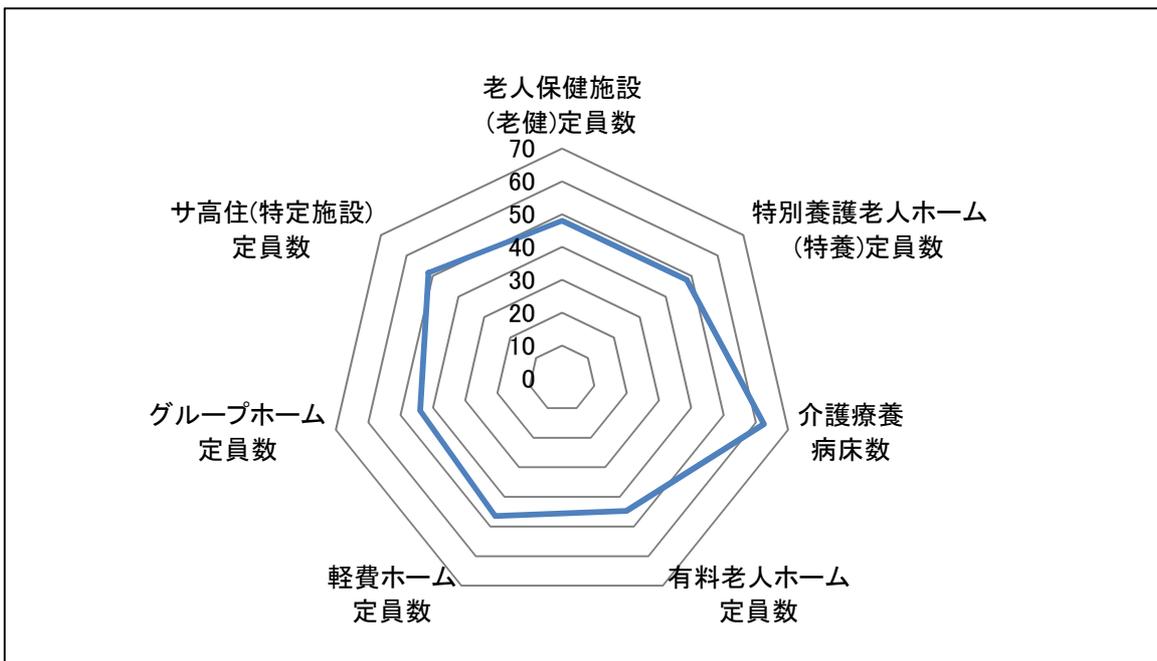
二次医療圏	サ高住(特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
京都府	554	2.5%	1.6	52	209,785		12.9	(6.8)
					4,649	2.2%	13.8	51

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

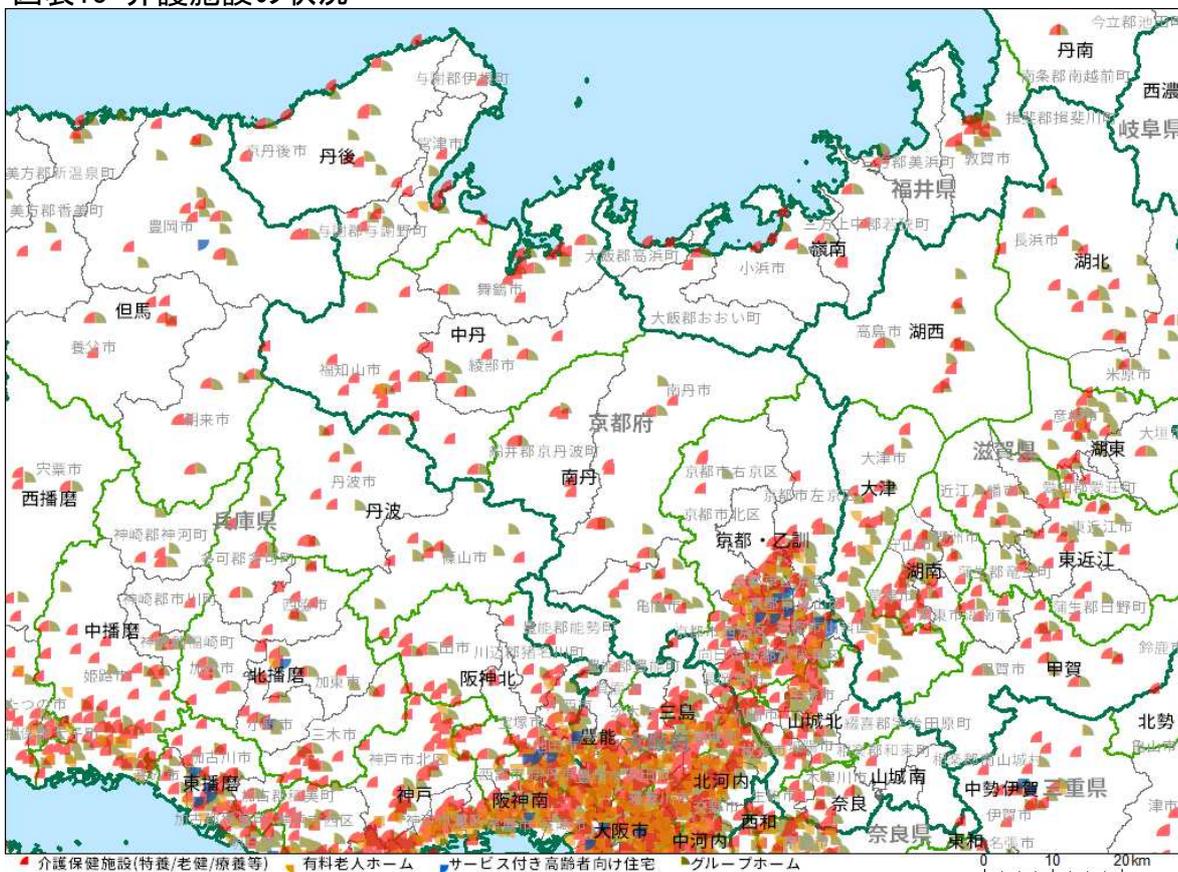
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
京都府	25,054	1.9%	74	46	2,541	2.1%	7.5	51

京都府

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



京都府

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値54とやや多い。

人口当たり回復期病床は偏差値52と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値51と全国平均レベルである。

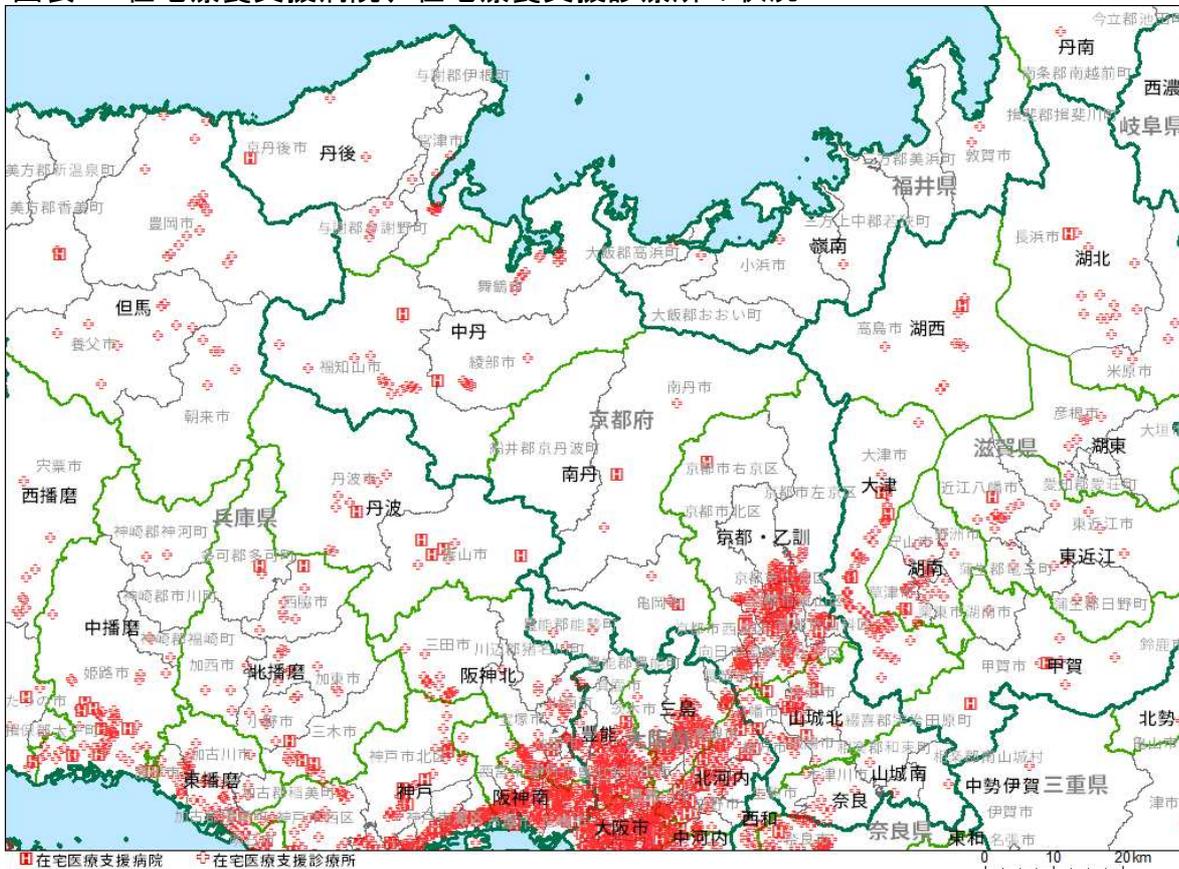
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	全国シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
京都府	31	2.2%	0.1	51	347	2.4%	1.0	54

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	全国シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
京都府	1,925	2.4%	73.7	52	1,639	2.2%	62.8	51

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



京都府

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値46とやや少なく、訪問看護が偏差値58と多く、通所介護が偏差値41と少ない。通所リハが偏差値48と全国平均レベル、訪問入浴が偏差値54とやや多く、短期入所が偏差値47とやや少なく、居宅介護支援が偏差値48と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値56と多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値50と全国平均レベル、訪問看護に従事する看護師が偏差値56と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
京都府	591	1.8%	1.8	46	289	2.6%	0.9	58	634	1.4%	1.9	41

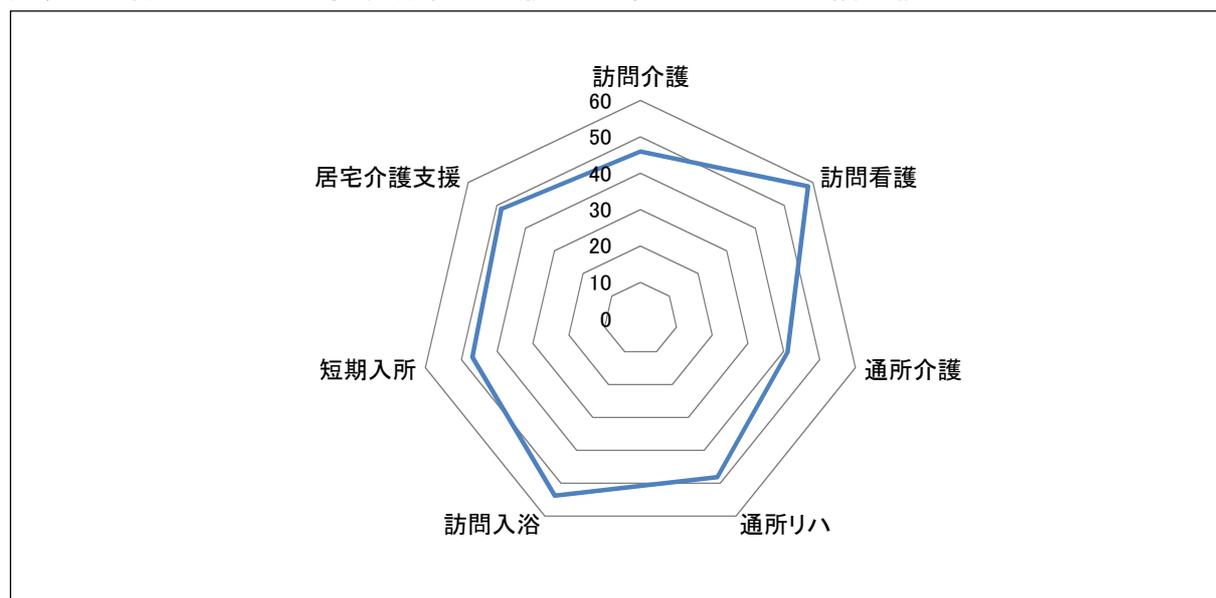
二次医療圏	通所リハ	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
京都府	143	1.9%	0.4	48	54	2.7%	0.2	54	191	1.8%	0.6	47

二次医療圏	居宅介護支援	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
京都府	811	2.0%	2.4	48

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	全国シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
京都府	30,822	2.5%	91.3	56	4,675	2.1%	13.9	50	1,273	2.5%	3.8	56

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



丹後

■ 人口動態と要介護者の現状

丹後は、人口97,424人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は35,297人、高齢化率(65歳以上人口割合)は36%と非常に高い。

要介護数(認定者)は5,553人、要介護認定率は16%と高い。うち要介護3以上は2,791人、要介護者数に占める割合は50%と高い。

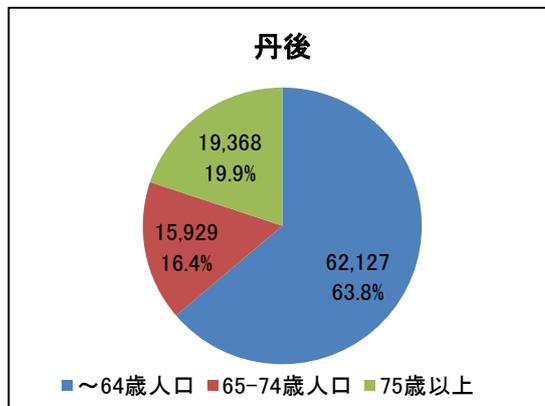
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
丹後	97,424	35,297	19,368	36%	69	16,434	37%	33%

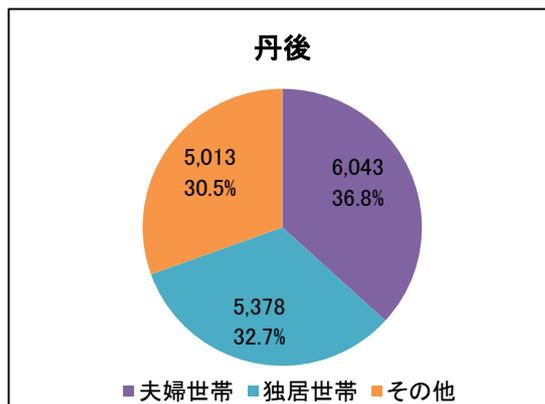
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
丹後	5,553	16%	63	2,791	50%	56

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



丹後

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、丹後の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2010年、85歳以上人口のピークは2035年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が19,263(12,396+6,867)人であるが、ピーク時の2030年には21,338人まで増加すると推計され、2015年比11%増加する。

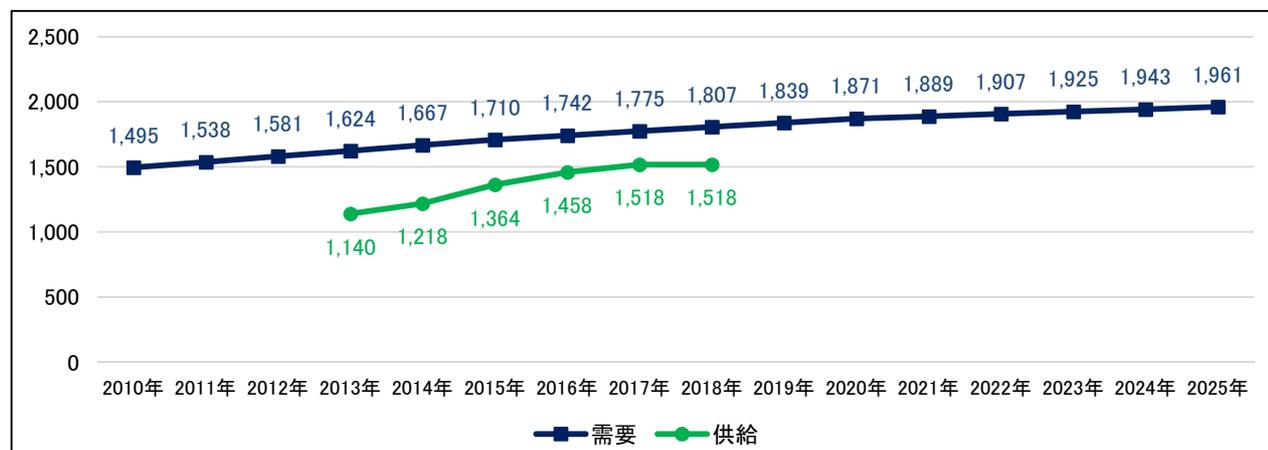
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、丹後の施設需要のピークは2035年の2,114人であり、2015年の1,710人と比べ、24%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、丹後の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,667人、供給1,218人と「供給<需要(-27%)」である。2018年は需要1,807人、供給1,518人と「供給<需要(-16%)」である。丹後の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、かなり不足ぎみの状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



丹後

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,481人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,277床(偏差値54)、高齢者住宅等が204床(偏差値35)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設29、特別養護老人ホーム70、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム39、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム42、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値58と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値41と全国平均レベルを下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
丹後	1,481	5.3%	76	40	1,277	6.0%	66	54	204	3.0%	11	35

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
丹後	200	2.8%	10	29	1,077	9.6%	56	70	0	0.0%	0	41

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
丹後	60	2.0%	3.1	39	0	0.0%	0	43	144	4.8%	7.4	42

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

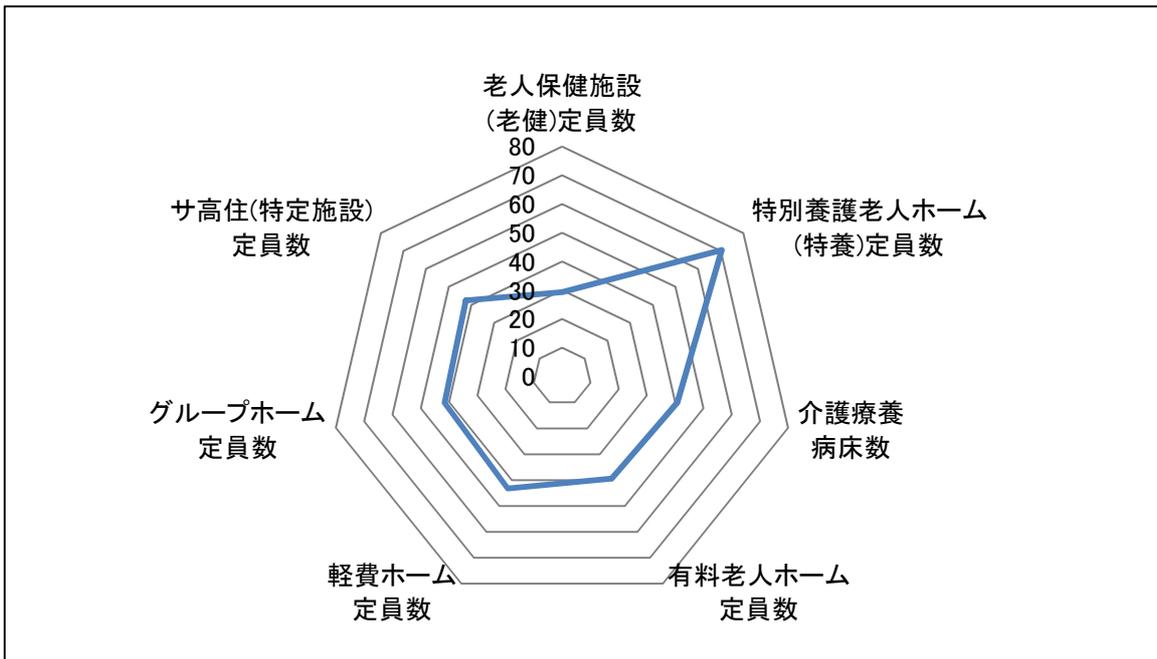
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
丹後	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					50	1.1%	2.6	35

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

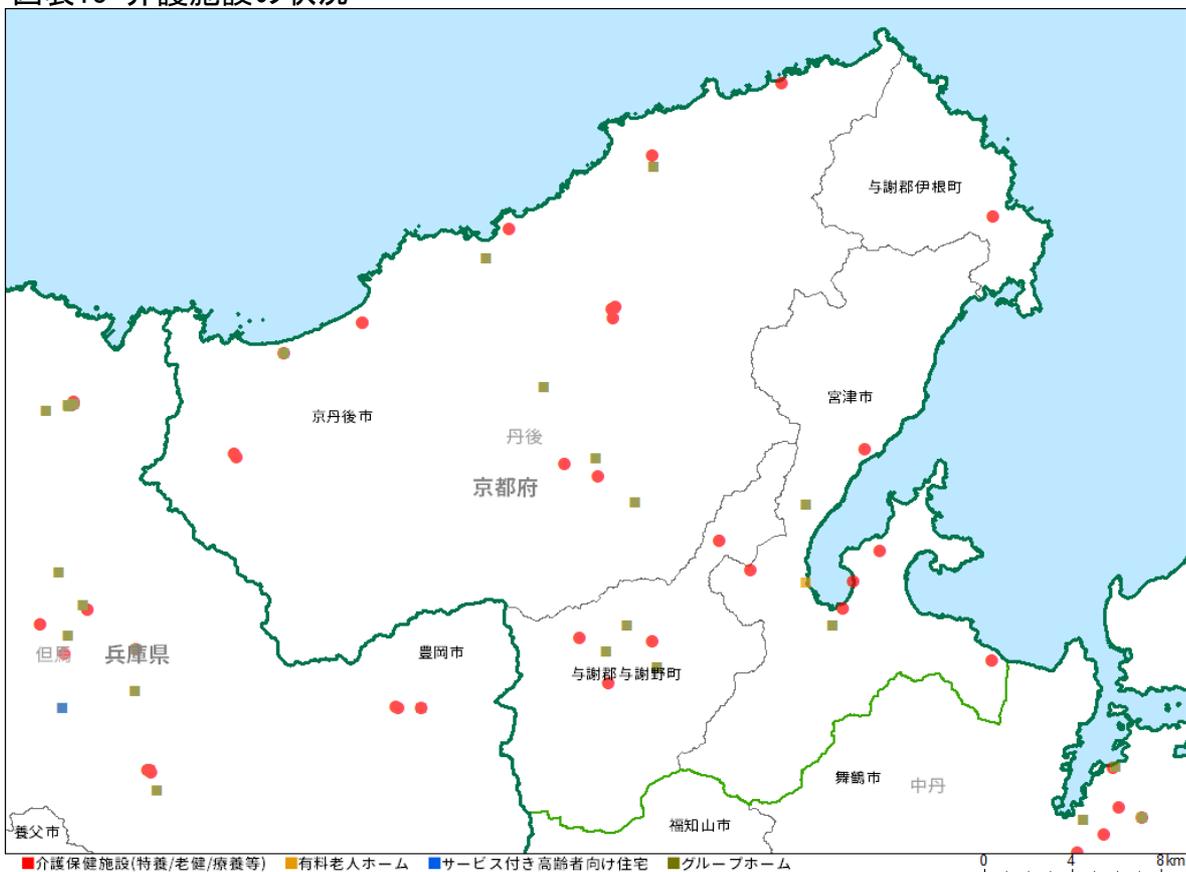
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
丹後	1,699	6.8%	88	58	107	4.2%	5.5	41

丹後

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



丹後

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値45とやや少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値48と全国平均レベルである。

人口当たり回復期病床は偏差値58と多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値40である。

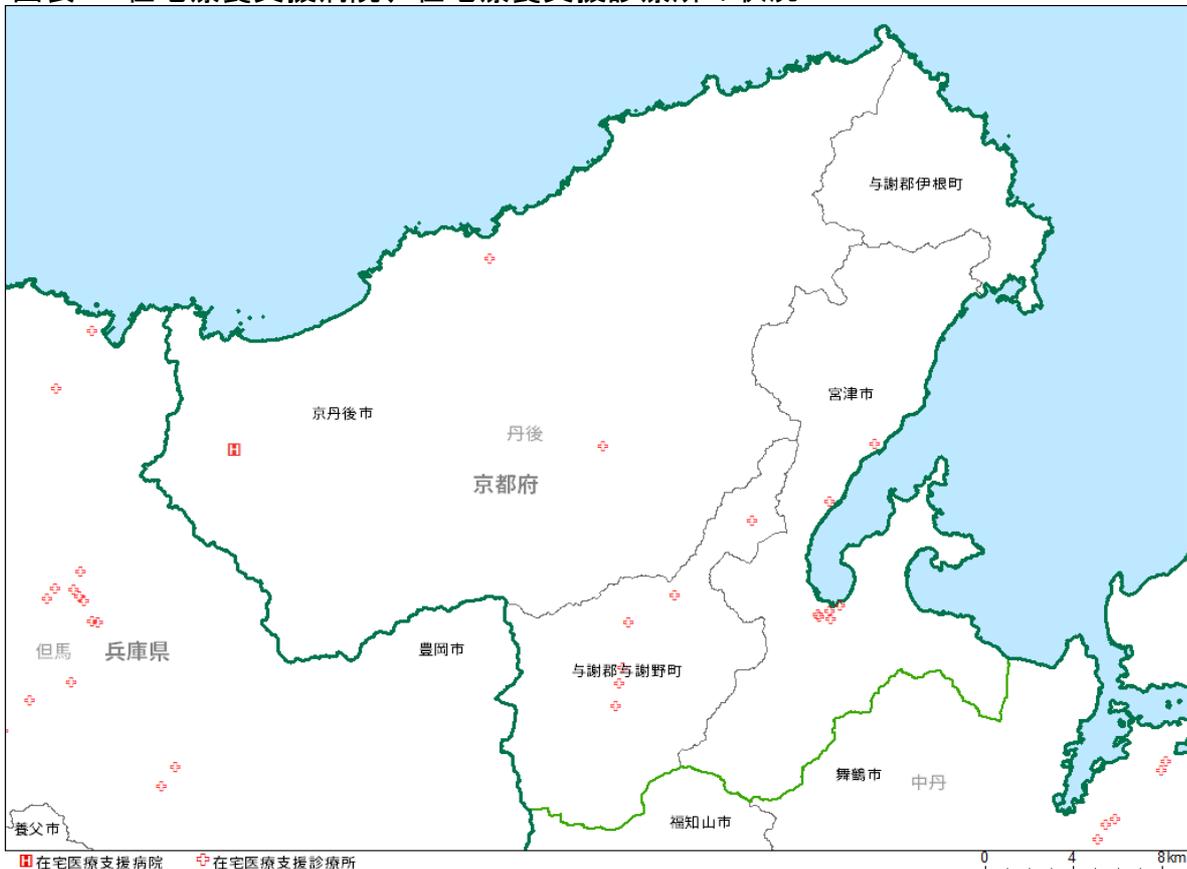
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
丹後	1	3.2%	0.1	45	15	4.3%	0.8	48

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
丹後	96	5.0%	98.5	58	0	0.0%	0	40

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



丹後

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値38と少なく、訪問看護が偏差値48と全国平均レベル、通所介護が偏差値43と少ない。通所リハが偏差値38と少なく、訪問入浴が偏差値85と非常に多く、短期入所が偏差値67と非常に多く、居宅介護支援が偏差値39と少ない。訪問介護利用者数は偏差値40と少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値37と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値46と全国平均レベルをやや下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
丹後	22	3.7%	1.1	38	12	4.2%	0.6	48	41	6.5%	2.1	43

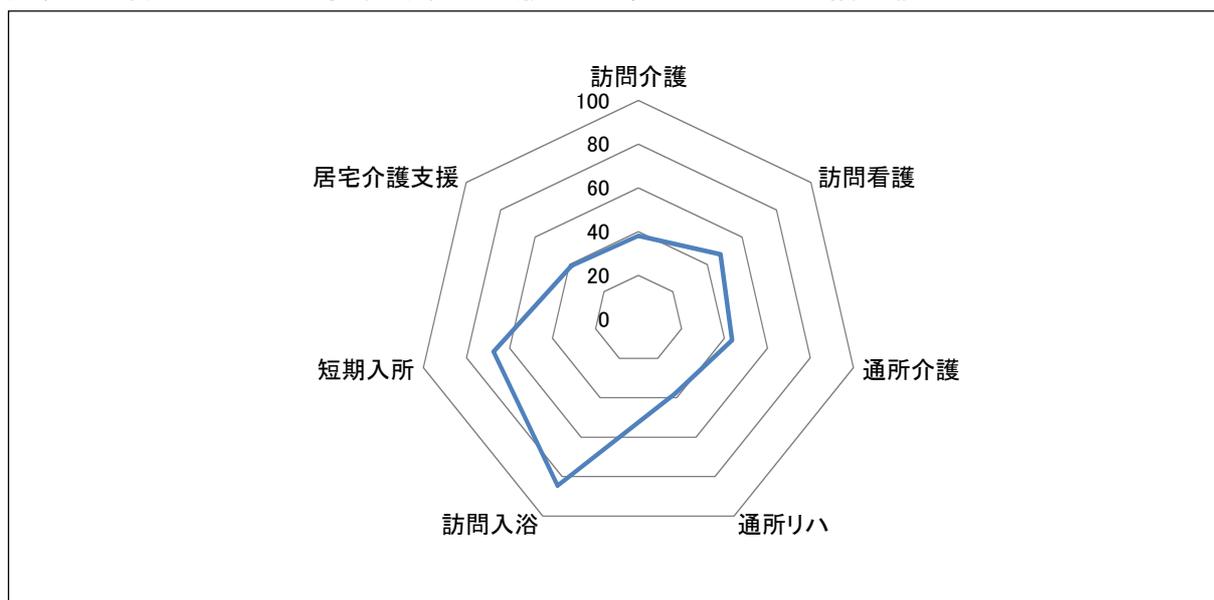
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
丹後	4	2.8%	0.2	38	9	16.7%	0.5	85	21	11.0%	1.1	67

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
丹後	36	4.4%	1.9	39

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
丹後	946	3.1%	48.8	40	123	2.6%	6.3	37	53	4.1%	2.7	46

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



中丹

■ 人口動態と要介護者の現状

中丹は、人口196,746人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は61,105人、高齢化率(65歳以上人口割合)は31%と高い。

要介護数(認定者)は9,449人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は4,562人、要介護者数に占める割合は48%と全国平均レベルである。

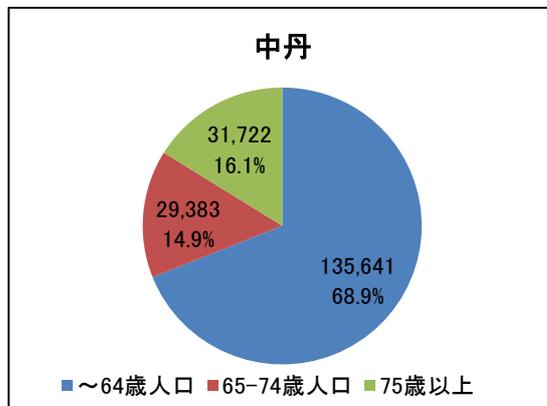
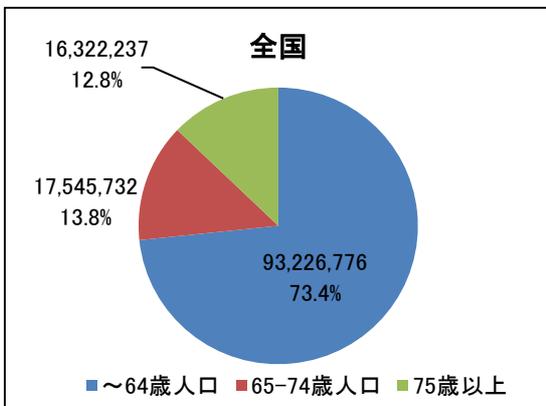
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
中丹	196,746	61,105	31,722	31%	59	31,417	38%	35%

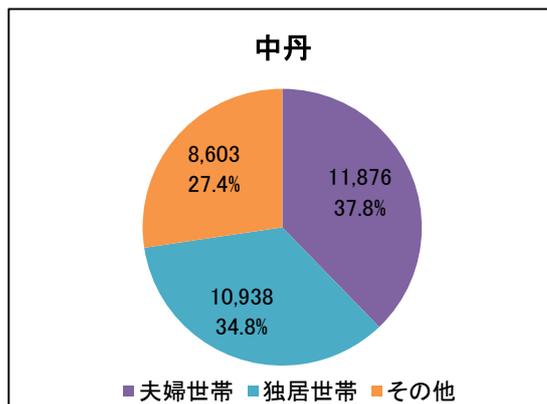
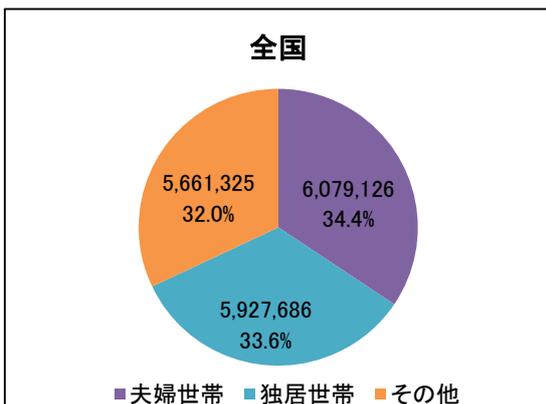
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
中丹	9,449	15%	61	4,562	48%	50

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



中丹

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、中丹の65歳以上人口のピークは2020年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2035年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が31,540(20,632+10,908)人であるが、ピーク時の2030年には36,899人まで増加すると推計され、2015年比17%増加する。

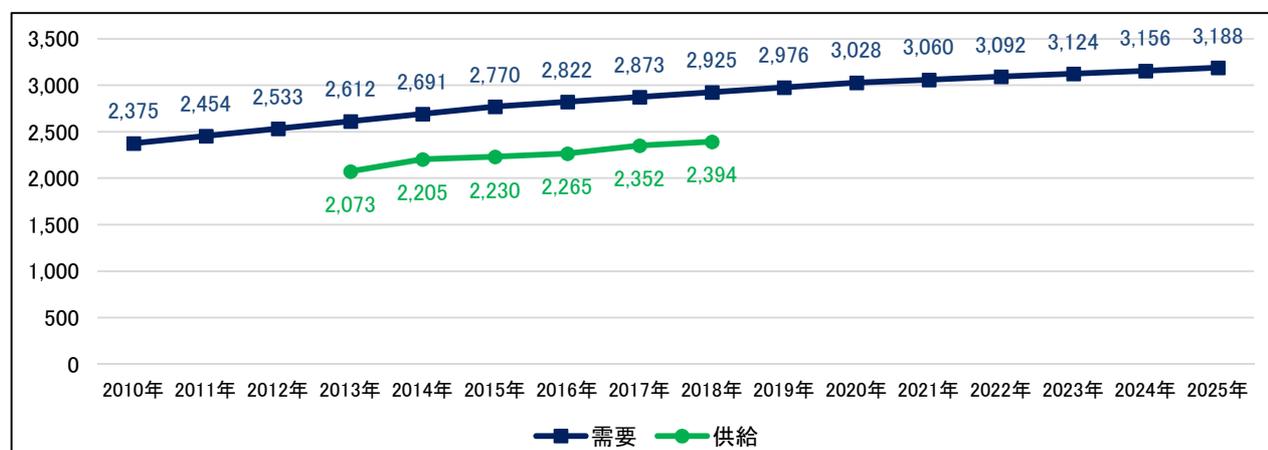
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、中丹の施設需要のピークは2035年の3,582人であり、2015年の2,770人と比べ、29%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、中丹の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要2,691人、供給2,205人と「供給<需要(-18%)」である。2018年は需要2,925人、供給2,394人と「供給<需要(-18%)」である。中丹の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、かなり不足ぎみの状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



中丹

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、2,408人(75歳以上1,000人当たりの偏差値40)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,019床(偏差値52)、高齢者住宅等が389床(偏差値36)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム57、介護療養型医療施設46、有料老人ホーム39、軽費ホーム58、グループホーム41、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値51と全国平均レベル、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値43と全国平均レベルを下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
中丹	2,408	8.6%	76	40	2,019	9.4%	64	52	389	5.8%	12	36

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
中丹	612	8.5%	19	45	1,347	12.0%	42	57	60	2.1%	1.9	46

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
中丹	69	2.3%	2.2	39	99	43.2%	3.1	58	221	7.4%	7.0	41

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

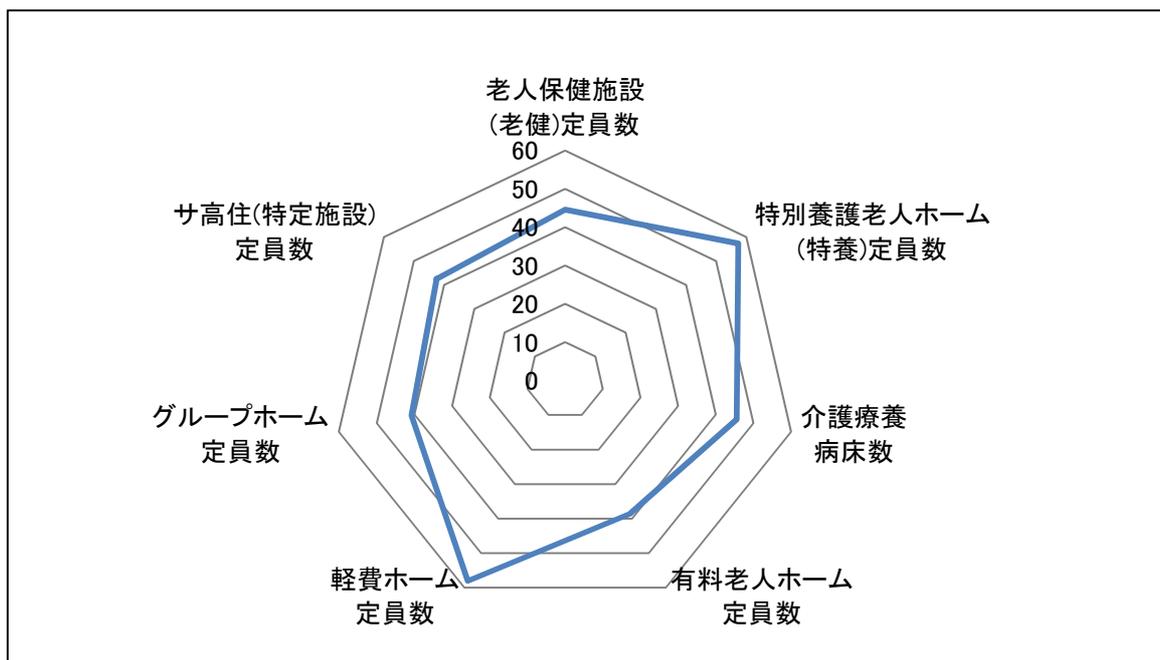
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
中丹	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					37	0.8%	1.2	33

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

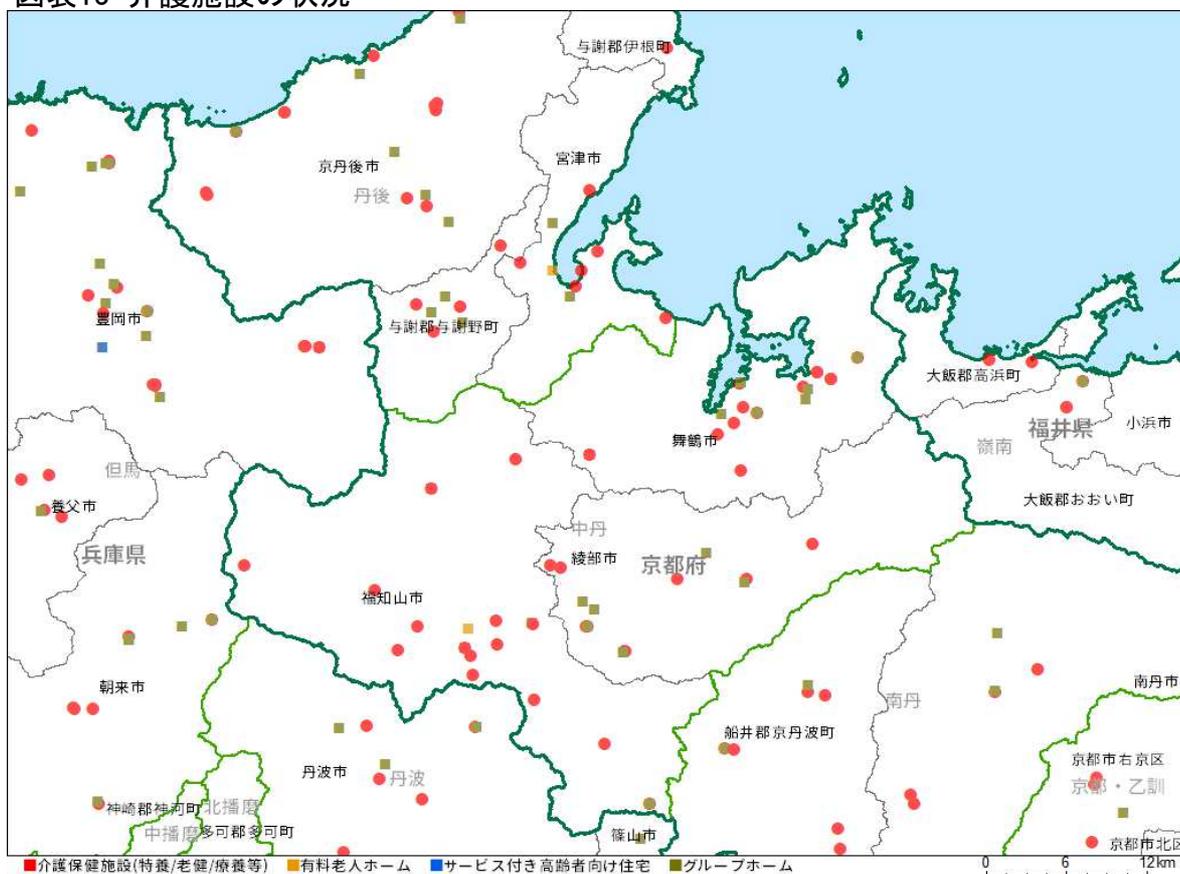
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
中丹	2,526	10.1%	80	51	191	7.5%	6.0	43

中丹

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



中丹

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値47とやや少ない。在宅療養支援診療所数は偏差値53とやや多い。

人口当たり回復期病床は偏差値54とやや多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値62と多い。

図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
中丹	2	6.5%	0.1	47	32	9.2%	1.0	53

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
中丹	164	8.5%	83.4	54	249	15.2%	126.6	62

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



中丹

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値42と少なく、訪問看護が偏差値55とやや多く、通所介護が偏差値40と少ない。通所リハが偏差値49と全国平均レベル、訪問入浴が偏差値60と多く、短期入所が偏差値53とやや多く、居宅介護支援が偏差値48と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値56と多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値44と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値50と全国平均レベルである。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
中丹	46	7.8%	1.5	42	25	8.7%	0.8	55	55	8.7%	1.7	40

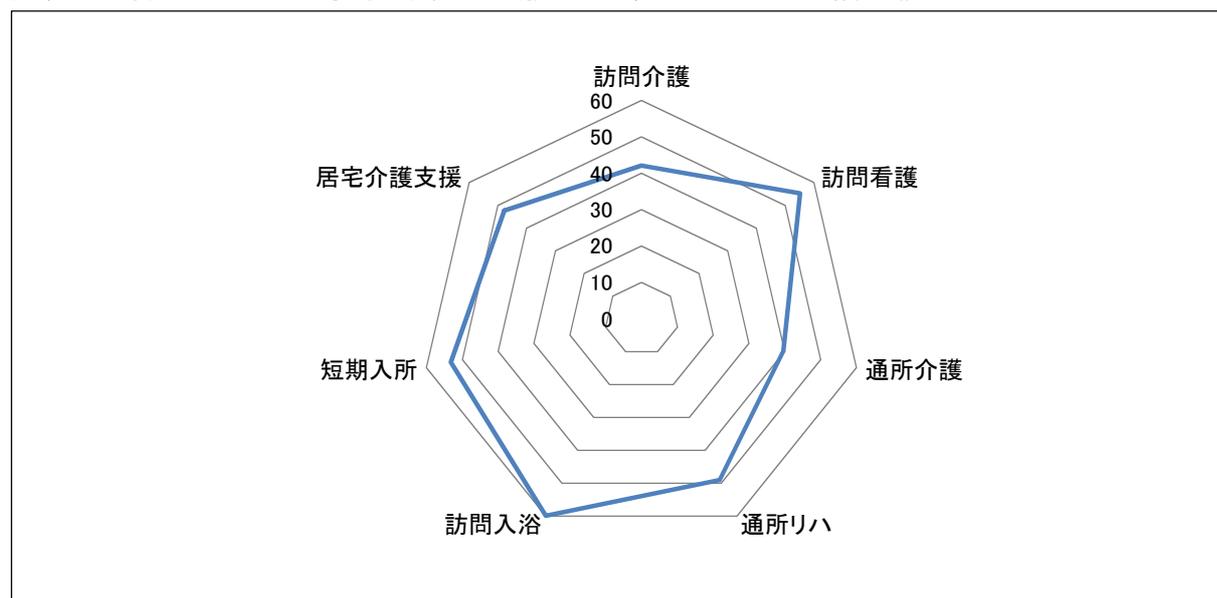
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
中丹	14	9.8%	0.4	49	7	13.0%	0.2	60	23	12.0%	0.7	53

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
中丹	75	9.2%	2.4	48

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
中丹	2,840	9.2%	89.5	56	329	7.0%	10.4	44	101	8.0%	3.2	50

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



南丹

■ 人口動態と要介護者の現状

南丹は、人口137,077人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は40,634人、高齢化率(65歳以上人口割合)は30%と高い。

要介護数(認定者)は5,323人、要介護認定率は13%とやや低い。うち要介護3以上は2,777人、要介護者数に占める割合は52%と高い。

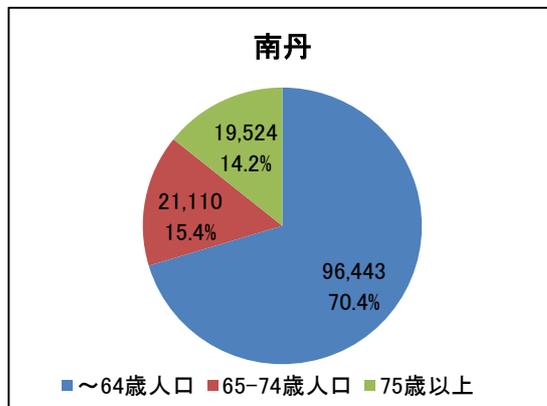
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
南丹	137,077	40,634	19,524	30%	56	19,473	40%	29%

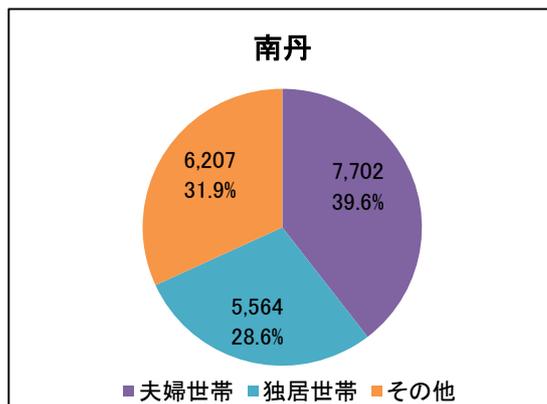
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
南丹	5,323	13%	48	2,777	52%	62

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



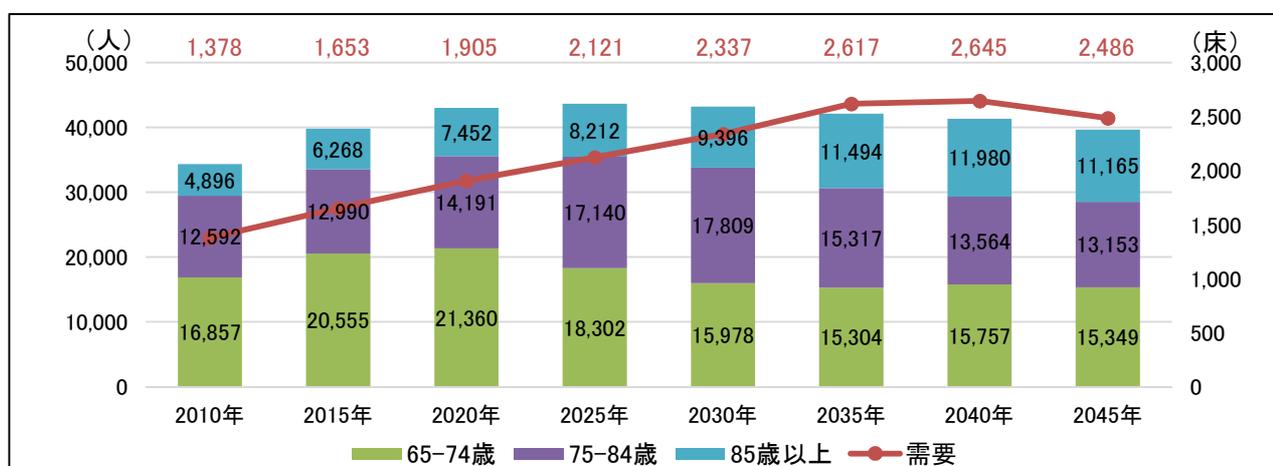
南丹

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、南丹の65歳以上人口のピークは2025年、65-74歳人口のピークは2020年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が19,258(12,990+6,268)人であるが、ピーク時の2030年には27,205人まで増加すると推計され、2015年比41%増加する。

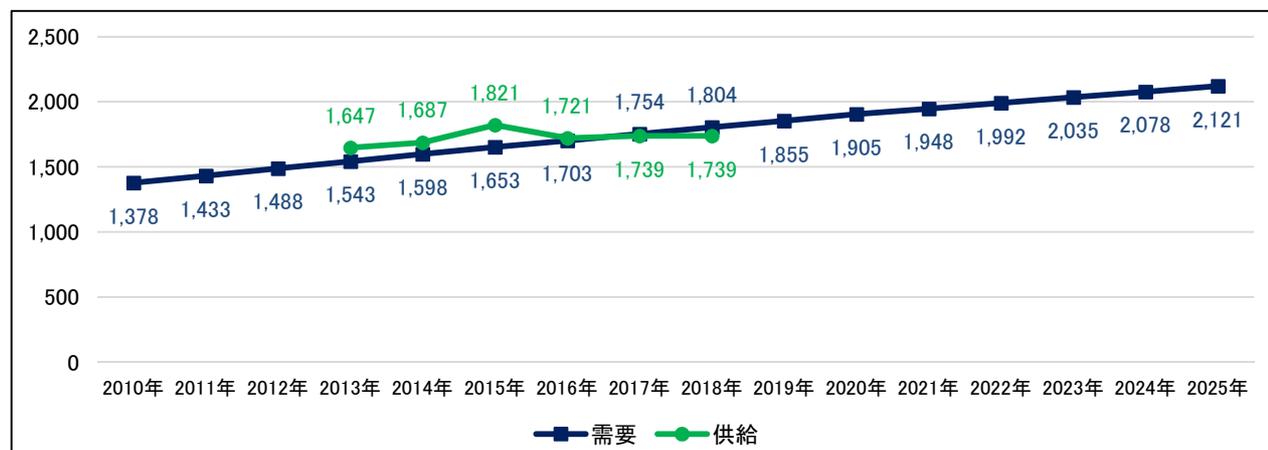
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、南丹の施設需要のピークは2040年の2,645人であり、2015年の1,653人と比べ、60%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、南丹の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要1,598人、供給1,687人と「供給>需要(+6%)」である。2018年は需要1,804人、供給1,739人と「供給<需要(-4%)」である。南丹の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年のやや余裕がある状況から、2018年の需要と供給が拮抗する状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



南丹

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,700人(75歳以上1,000人当たりの偏差値47)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が1,532床(偏差値64)、高齢者住宅等が168床(偏差値33)である。介護保険施設は全国平均レベルを上回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを大きく下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設62、特別養護老人ホーム62、介護療養型医療施設46、有料老人ホームなし(偏差値37)、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム44、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値64と全国平均レベルを上回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値55と全国平均レベルをやや上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
南丹	1,700	6.0%	87	47	1,532	7.2%	78	64	168	2.5%	9	33

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
南丹	574	8.0%	29	62	914	8.1%	47	62	44	1.5%	2.3	46

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
南丹	0	0.0%	0	37	0	0.0%	0	43	168	5.7%	8.6	44

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

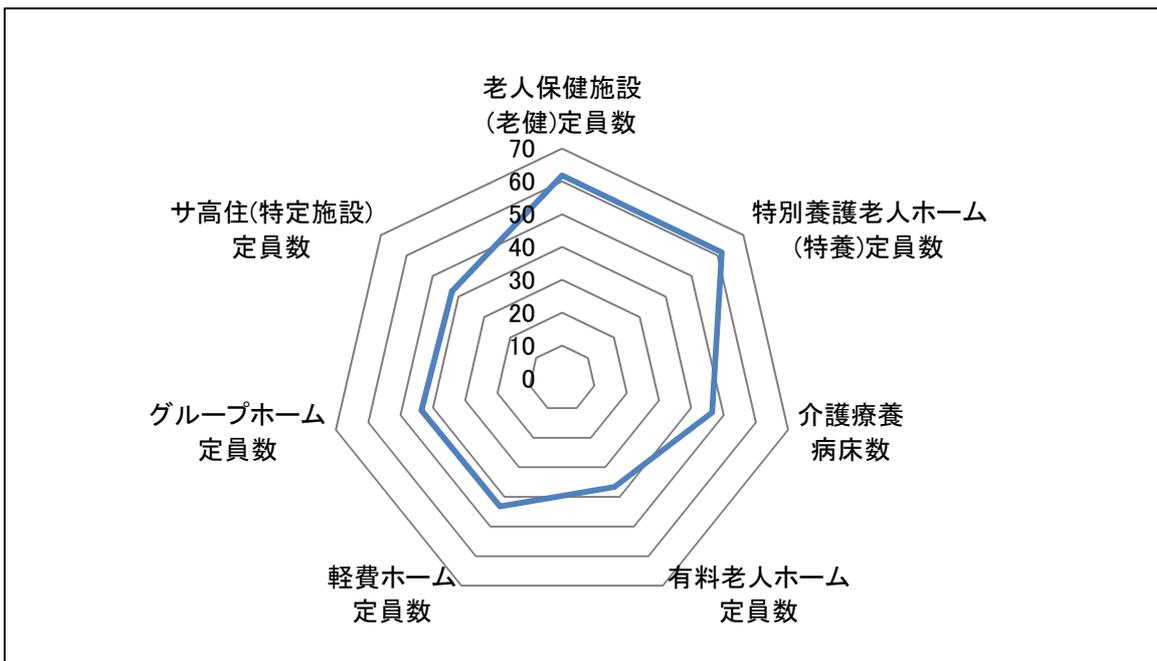
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
南丹	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					218	4.7%	11.2	48

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

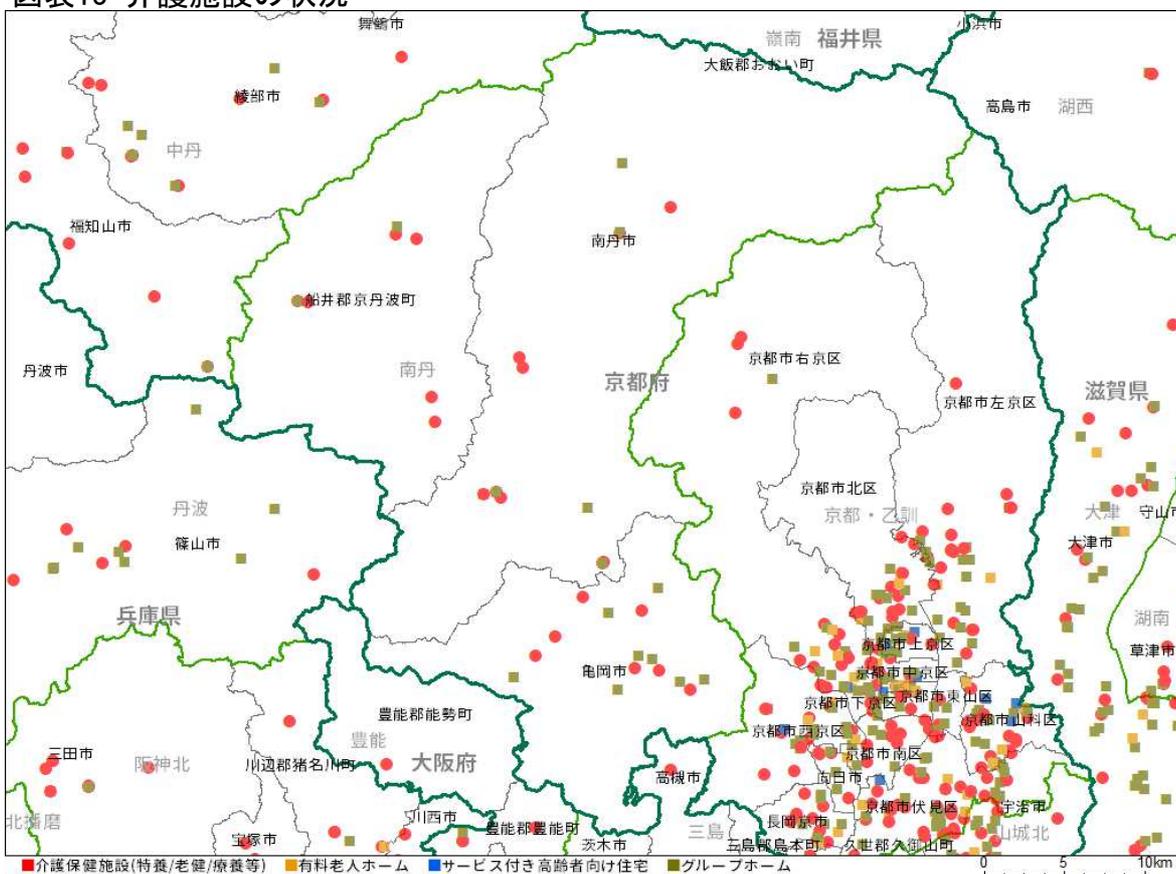
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
南丹	1,846	7.4%	95	64	163	6.4%	8.4	55

南丹

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



南丹

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値52と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値36と少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値44と少ない。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値65と多い。

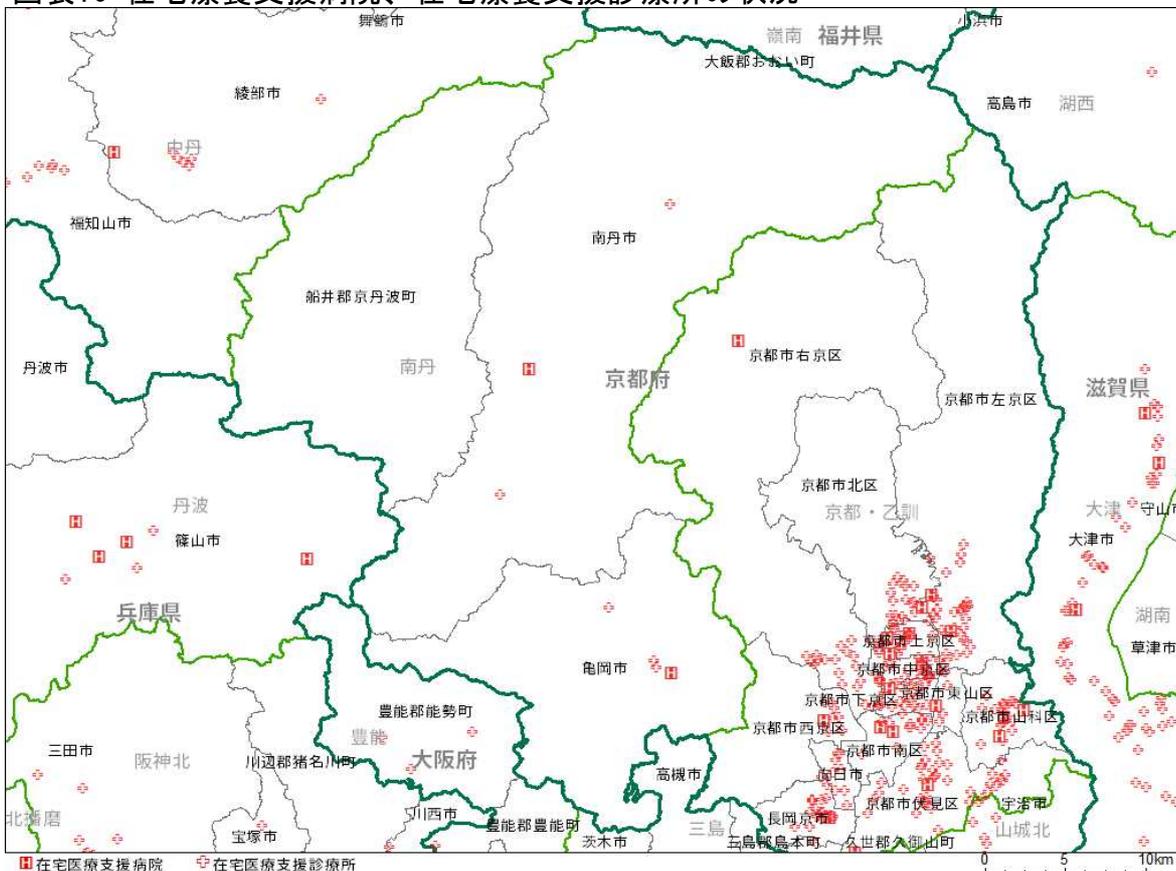
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
南丹	2	6.5%	0.1	52	5	1.4%	0.3	36

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
南丹	51	2.6%	37.2	44	199	12.1%	145.2	65

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



南丹

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値47とやや少なく、訪問看護が偏差値45とやや少なく、通所介護が偏差値43と少ない。通所リハが偏差値55とやや多く、訪問入浴が偏差値58と多く、短期入所が偏差値55とやや多く、居宅介護支援が偏差値51と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値47とやや少ない。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値46と全国平均レベルをやや下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値41と全国平均レベルを下回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
南丹	36	6.1%	1.8	47	11	3.8%	0.6	45	40	6.3%	2.0	43

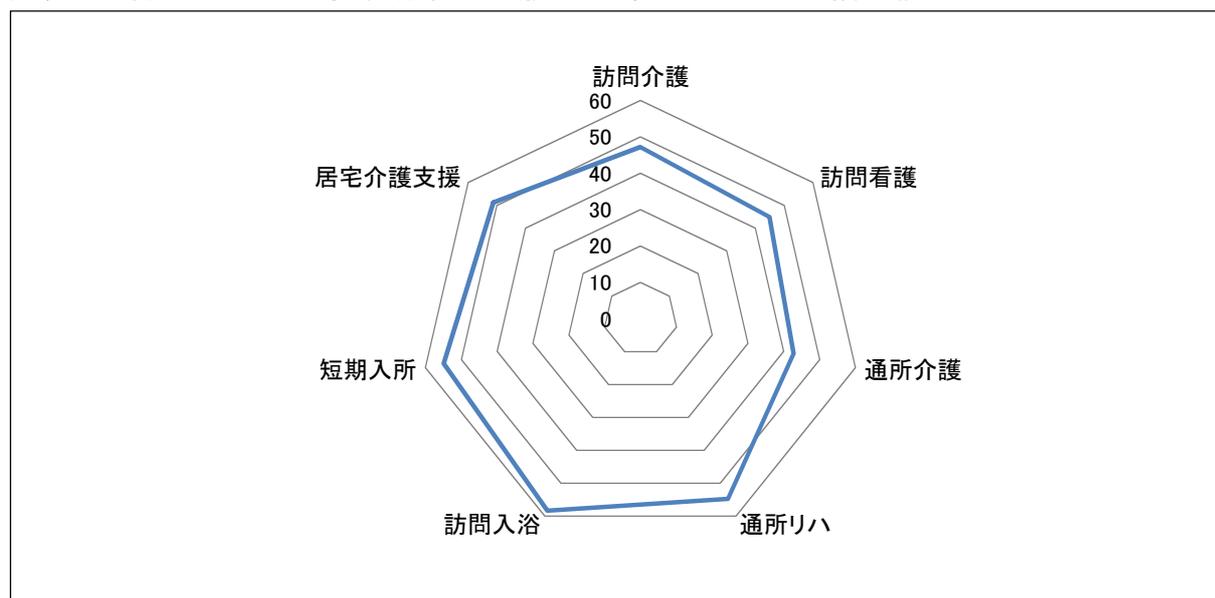
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
南丹	11	7.7%	0.6	55	4	7.4%	0.2	58	15	7.9%	0.8	55

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
南丹	50	6.2%	2.6	51

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
南丹	1,289	4.2%	66.0	47	224	4.8%	11.5	46	43	3.4%	2.2	41

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



京都・乙訓

■ 人口動態と要介護者の現状

京都・乙訓は、人口1,623,834人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は433,025人、高齢化率(65歳以上人口割合)は27%と全国平均レベルである。

要介護数(認定者)は66,128人、要介護認定率は15%と高い。うち要介護3以上は31,210人、要介護者数に占める割合は47%とやや低い。

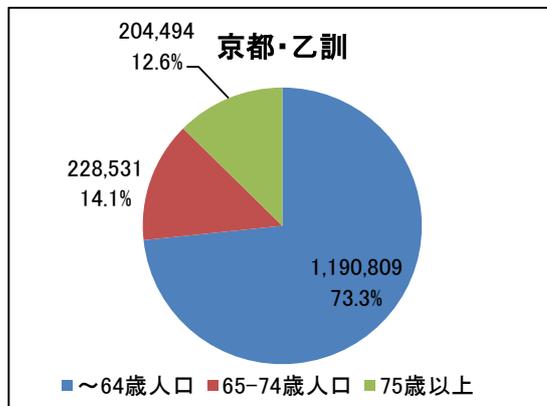
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
京都・乙訓	1,623,834	433,025	204,494	27%	50	246,481	32%	38%

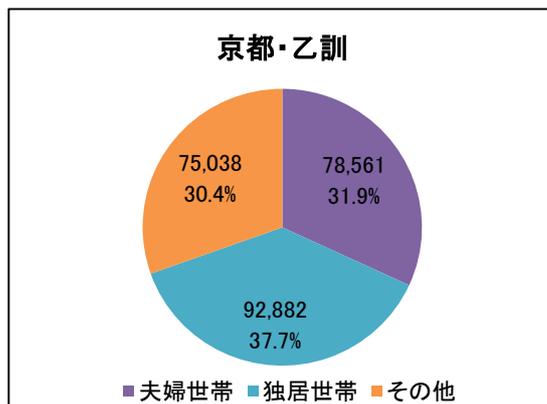
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
京都・乙訓	66,128	15%	60	31,210	47%	47

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



京都・乙訓

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、京都・乙訓の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2035年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が200,117(141,753+58,364)人であるが、ピーク時の2045年には298,636人まで増加すると推計され、2015年比49%増加する。

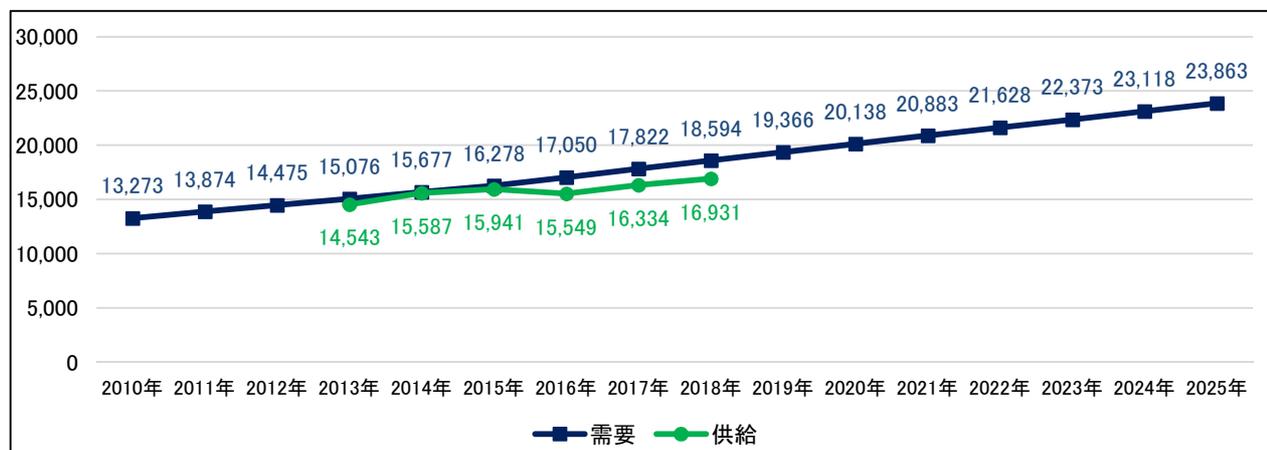
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、京都・乙訓の施設需要のピークは2040年の30,480人であり、2015年の16,278人と比べ、87%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、京都・乙訓の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要15,677人、供給15,587人と「供給<需要(-1%)」である。2018年は需要18,594人、供給16,931人と「供給<需要(-9%)」である。京都・乙訓の高齢者施設の供給は、需要の伸びにより、2014年の需要と供給が拮抗する状況から、2018年の不足ぎみの状況になった。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



京都・乙訓

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、17,460人(75歳以上1,000人当たりの偏差値46)と全国平均レベルをやや下回る。そのうち、介護保険施設の定員が13,064床(偏差値52)、高齢者住宅等が4,396床(偏差値44)である。介護保険施設は全国平均レベルであるが、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設50、特別養護老人ホーム43、介護療養型医療施設73、有料老人ホーム45、軽費ホーム46、グループホーム45、サ高住(特定施設)58である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値45と全国平均レベルをやや下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値55と全国平均レベルをやや上回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
京都・乙訓	17,460	62.1%	85	46	13,064	61.1%	64	52	4,396	65.3%	21	44

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
京都・乙訓	4,607	64.1%	23	50	5,868	52.1%	29	43	2,589	88.9%	12.7	73

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
京都・乙訓	1,822	61.2%	8.9	45	100	43.7%	0.5	46	1,920	64.6%	9.4	45

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

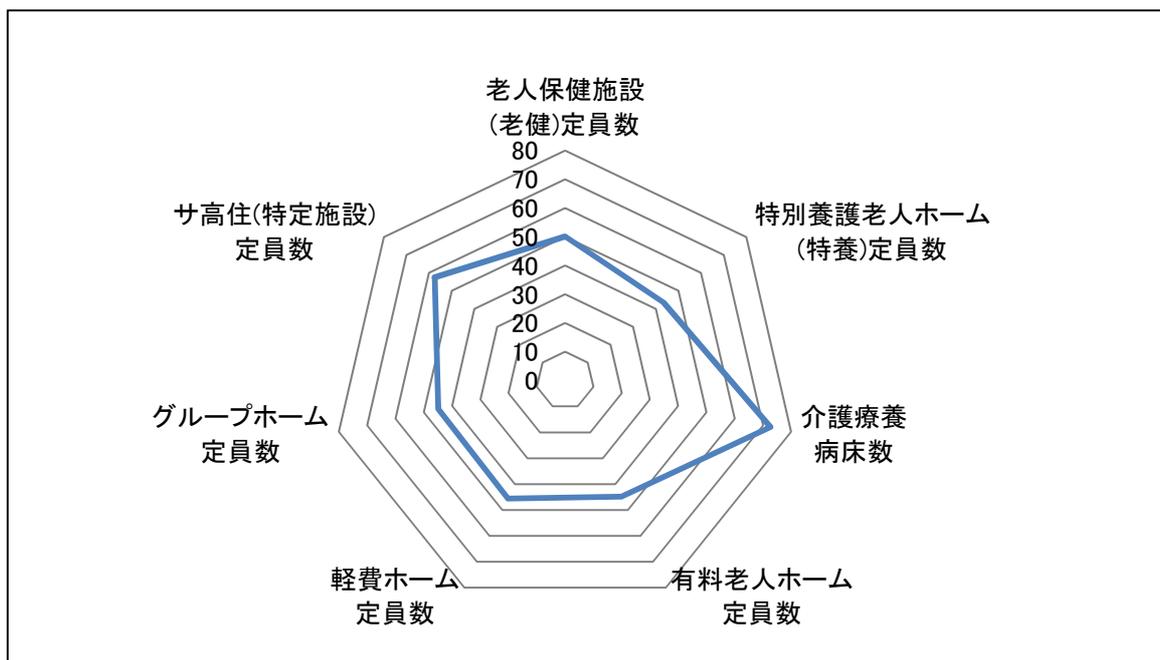
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
京都・乙訓	554	#####	2.7	58	209,785		12.9	(6.8)
					3,749	80.6%	18.3	58

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

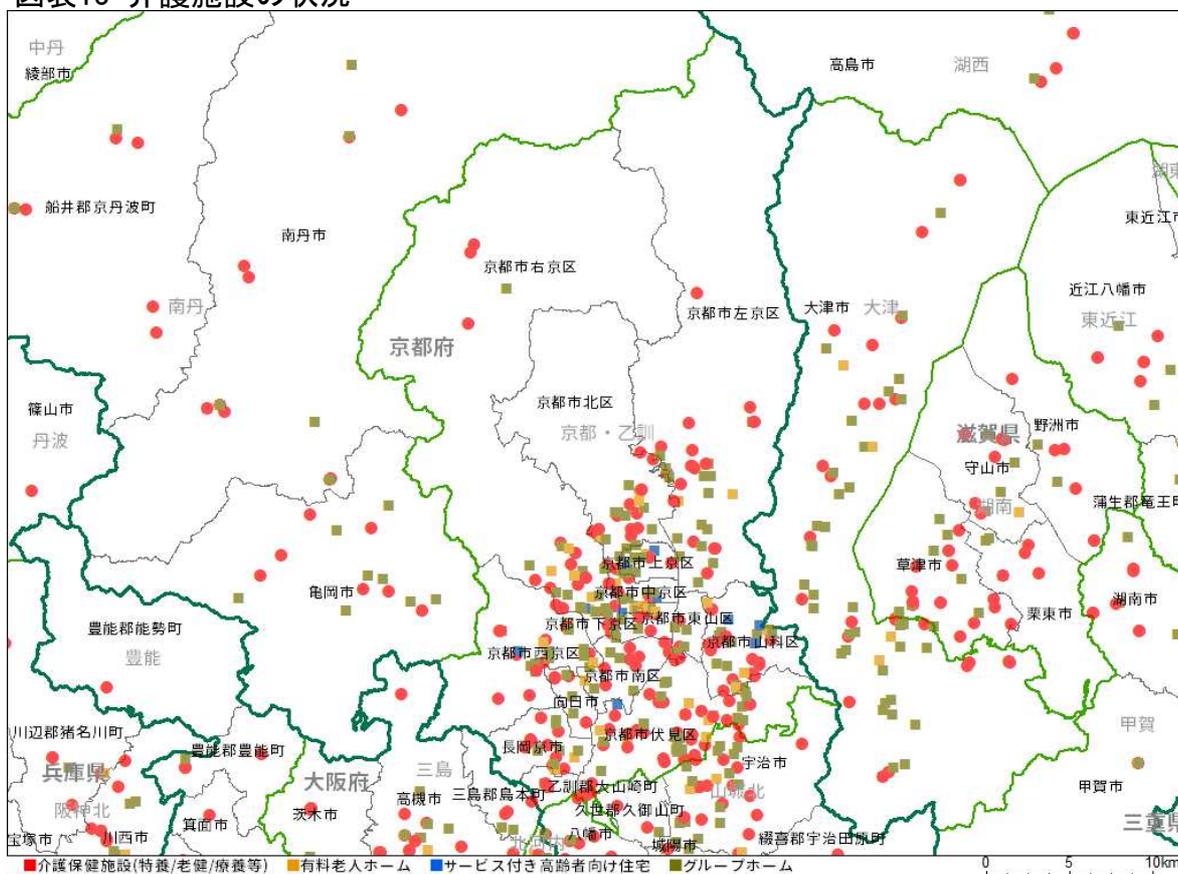
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
京都・乙訓	14,940	59.6%	73	45	1,694	66.7%	8.3	55

京都・乙訓

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



京都・乙訓

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値51と全国平均レベルである。在宅療養支援診療所数は偏差値57と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値52と全国平均レベルである。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値50と全国平均レベルである。

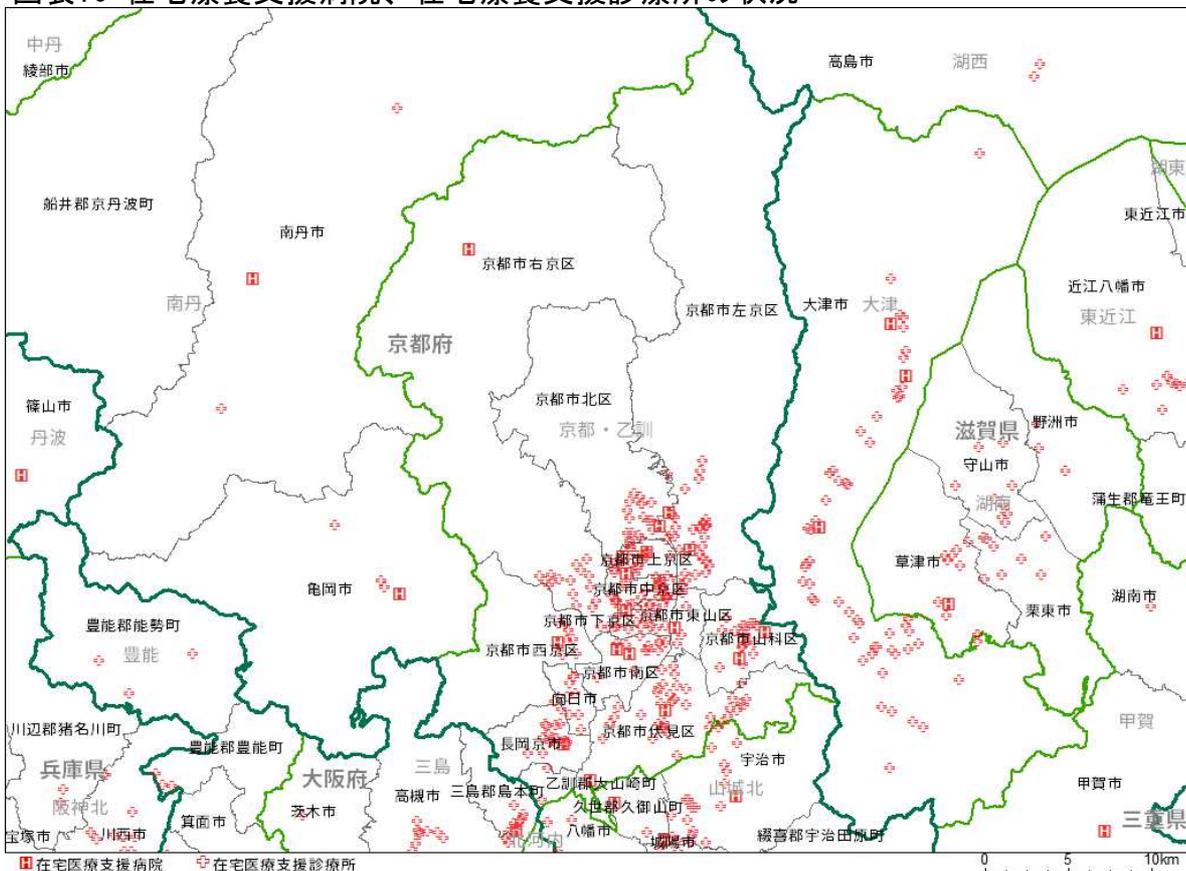
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
京都・乙訓	19	61.3%	0.1	51	244	70.3%	1.2	57

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
京都・乙訓	1,157	60.1%	71.3	52	951	58.0%	58.6	50

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



京都・乙訓

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値49と全国平均レベル、訪問看護が偏差値61と多く、通所介護が偏差値42と少ない。通所リハが偏差値49と全国平均レベル、訪問入浴が偏差値50と全国平均レベル、短期入所が偏差値44と少なく、居宅介護支援が偏差値51と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値61と多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値56と全国平均レベルを上回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値60と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
京都・乙訓	408	69.0%	2.0	49	187	64.7%	0.9	61	407	64.2%	2.0	42

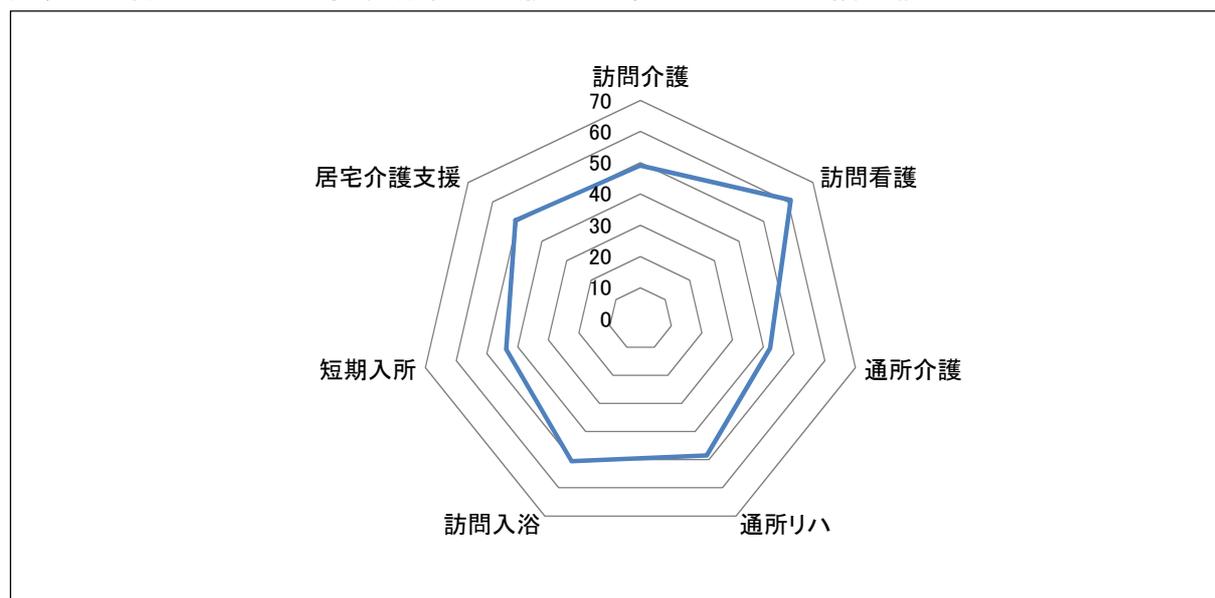
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
京都・乙訓	88	61.5%	0.4	49	26	48.1%	0.1	50	99	51.8%	0.5	44

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
京都・乙訓	518	63.9%	2.5	51

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
京都・乙訓	21,010	68.2%	102.7	61	3,469	74.2%	17.0	56	866	68.0%	4.2	60

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



山城北

■ 人口動態と要介護者の現状

山城北は、人口438,080人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は120,873人、高齢化率(65歳以上人口割合)は28%と全国平均レベルである。

要介護数(認定者)は14,679人、要介護認定率は12%と低い。うち要介護3以上は7,049人、要介護者に占める割合は48%と全国平均レベルである。

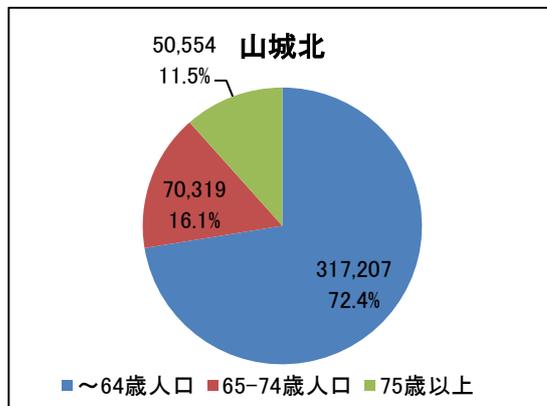
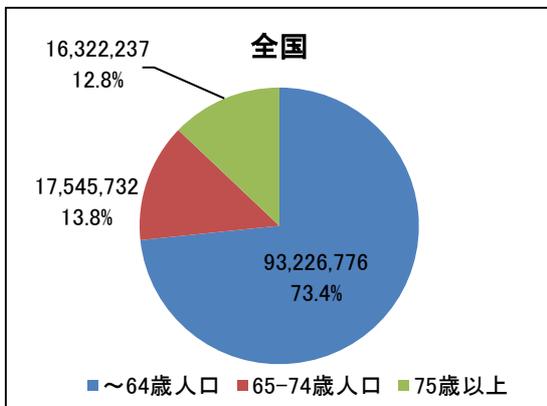
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
山城北	438,080	120,873	50,554	28%	52	65,960	40%	28%

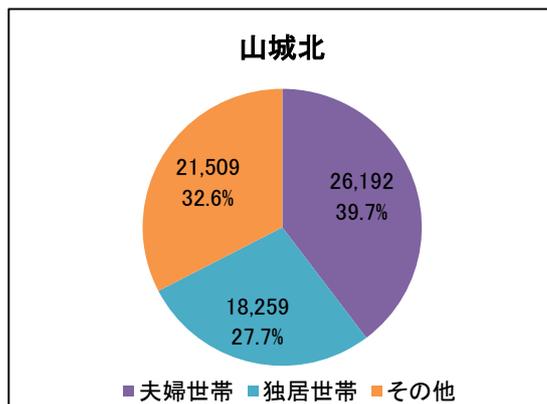
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
山城北	14,679	12%	43	7,049	48%	50

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



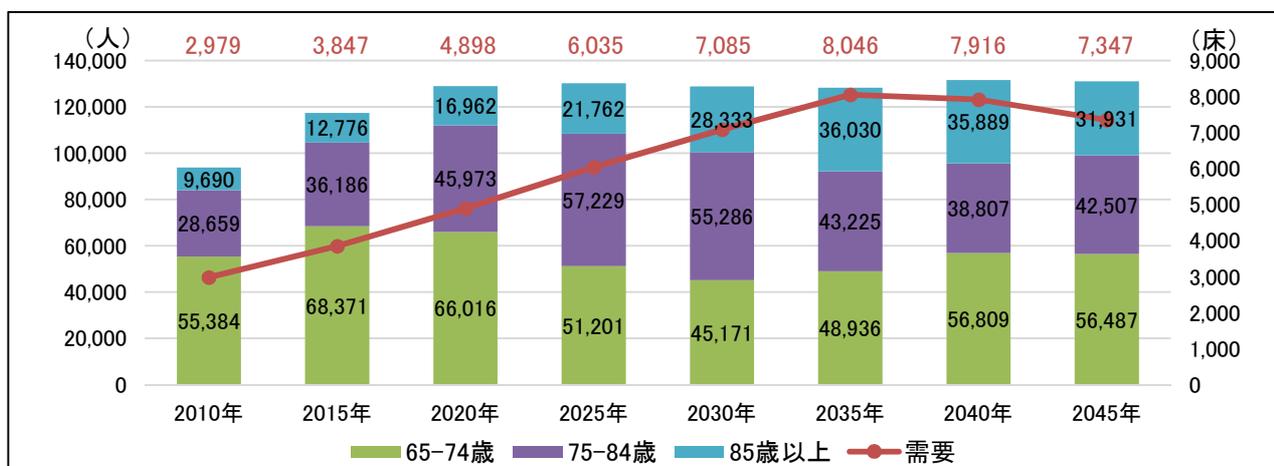
山城北

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、山城北の65歳以上人口のピークは2040年、65-74歳人口のピークは2015年、75-84歳人口のピークは2025年、85歳以上人口のピークは2035年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が48,962(36,186+12,776)人であるが、ピーク時の2030年には83,619人まで増加すると推計され、2015年比71%増加する。

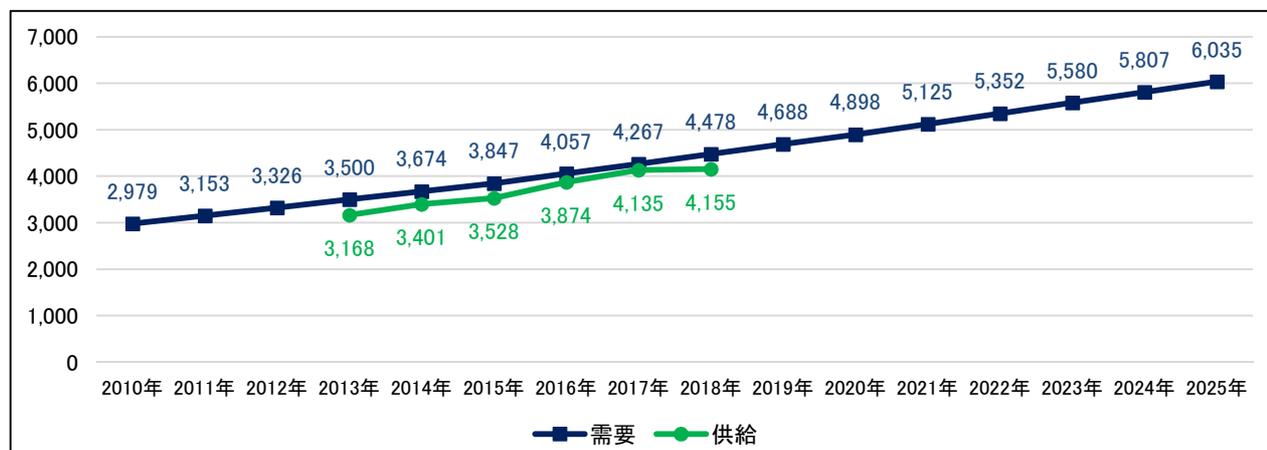
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、山城北の施設需要のピークは2035年の8,046人であり、2015年の3,847人と比べ、109%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、山城北の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要3,674人、供給3,401人と「供給<需要(-7%)」である。2018年は需要4,478人、供給4,155人と「供給<需要(-7%)」である。山城北の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、不足ぎみの状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



山城北

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、3,928人(75歳以上1,000人当たりの偏差値41)と全国平均レベルを下回る。そのうち、介護保険施設の定員が2,886床(偏差値47)、高齢者住宅等が1,042床(偏差値43)である。介護保険施設は全国平均レベルをやや下回り、高齢者住宅等は全国平均レベルを下回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設45、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設52、有料老人ホーム47、軽費ホーム46、グループホーム43、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値35と全国平均レベルを下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値44と全国平均レベルを下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
山城北	3,928	14.0%	78	41	2,886	13.5%	57	47	1,042	15.5%	21	43

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
山城北	994	13.8%	20	45	1,674	14.9%	33	48	218	7.5%	4.3	52

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
山城北	591	19.9%	11.7	47	30	13.1%	0.6	46	421	14.2%	8.3	43

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
山城北	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					547	11.8%	10.8	47

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
山城北	3,151	12.6%	62	35	316	12.4%	6.2	44

山城北

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院は偏差値58と多い。在宅療養支援診療所数は偏差値47とやや少ない。

人口当たり回復期病床は偏差値54とやや多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値47とやや少ない。

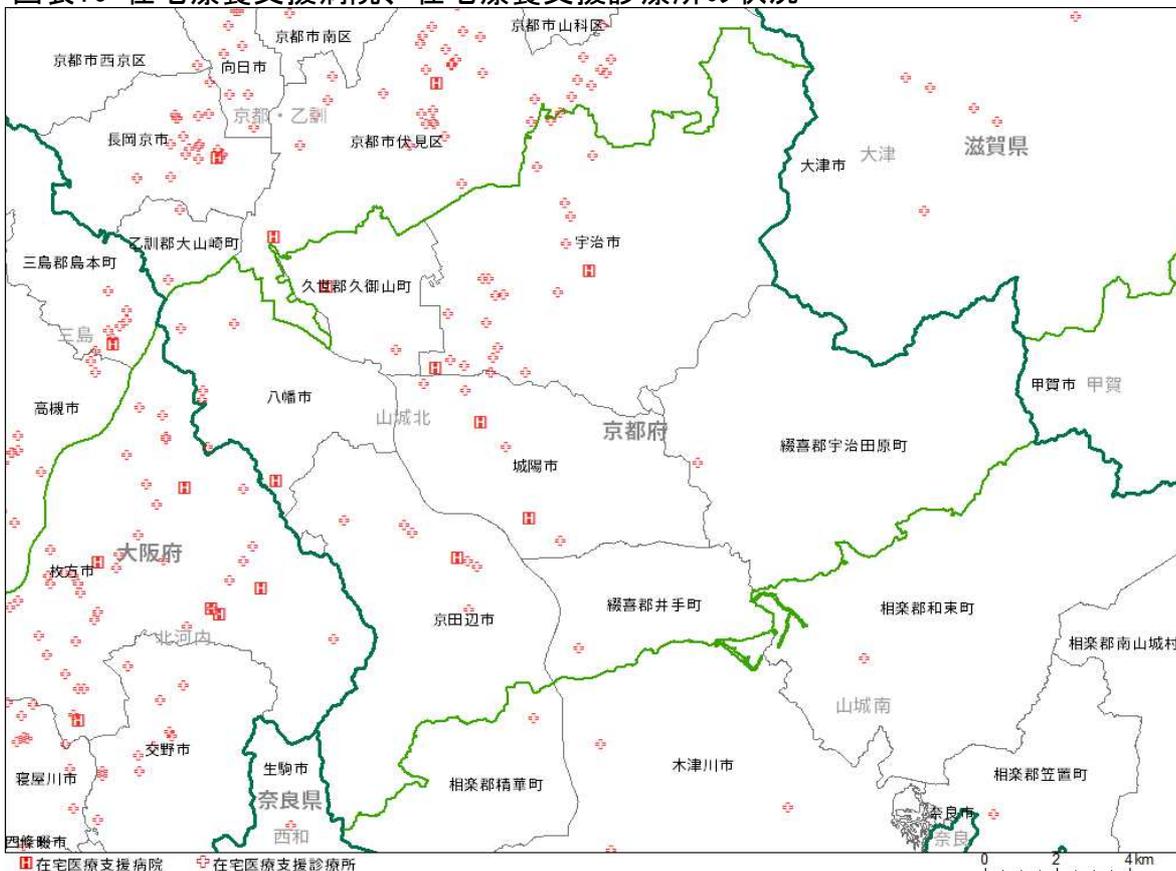
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
山城北	7	22.6%	0.1	58	37	10.7%	0.7	47

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値*全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
山城北	357	18.5%	81.5	54	183	11.2%	41.8	47

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



山城北

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値40と少なく、訪問看護が偏差値55とやや多く、通所介護が偏差値36と少ない。通所リハが偏差値50と全国平均レベル、訪問入浴が偏差値50と全国平均レベル、短期入所が偏差値45とやや少なく、居宅介護支援が偏差値42と少ない。訪問介護利用者数は偏差値49と全国平均レベルである。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値42と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値50と全国平均レベルである。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
山城北	66	11.2%	1.3	40	40	13.8%	0.8	55	71	11.2%	1.4	36

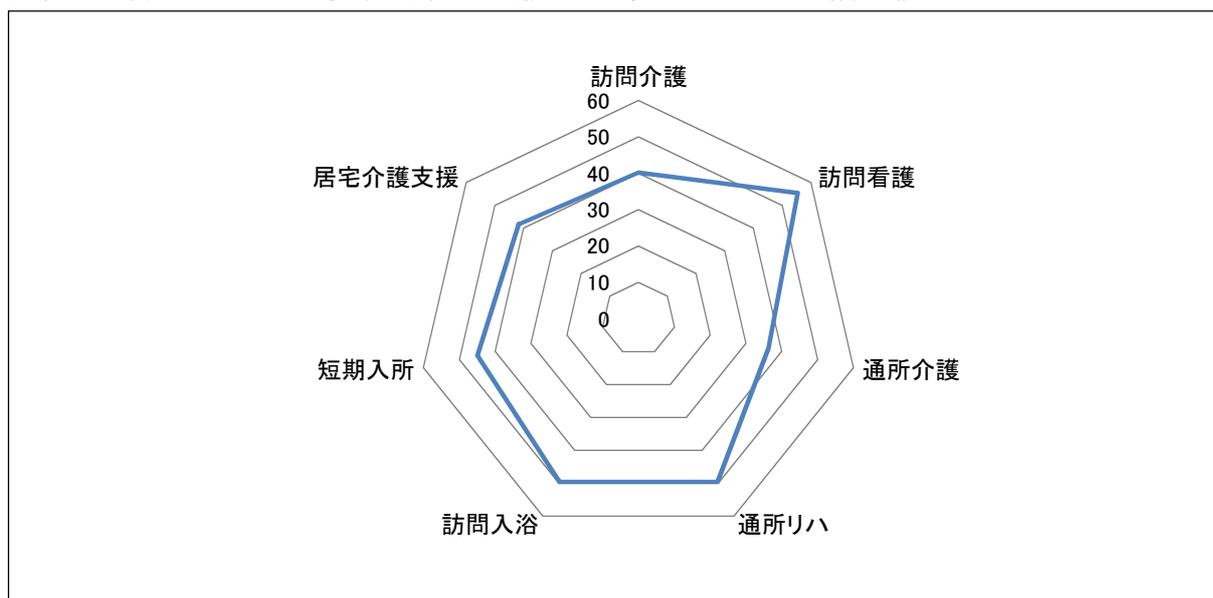
二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
山城北	23	16.1%	0.5	50	6	11.1%	0.1	50	26	13.6%	0.5	45

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
山城北	102	12.6%	2.0	42

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
山城北	3,672	11.9%	72.6	49	459	9.8%	9.1	42	158	12.4%	3.1	50

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



山城南

■ 人口動態と要介護者の現状

山城南は、人口117,192人である。第1号被保険者人口(65歳以上人口)は28,015人、高齢化率(65歳以上人口割合)は24%と低い。

要介護数(認定者)は3,479人、要介護認定率は12%と低い。うち要介護3以上は1,782人、要介護者数に占める割合は51%と高い。

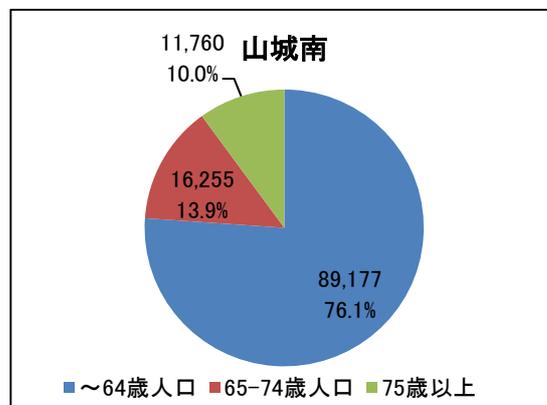
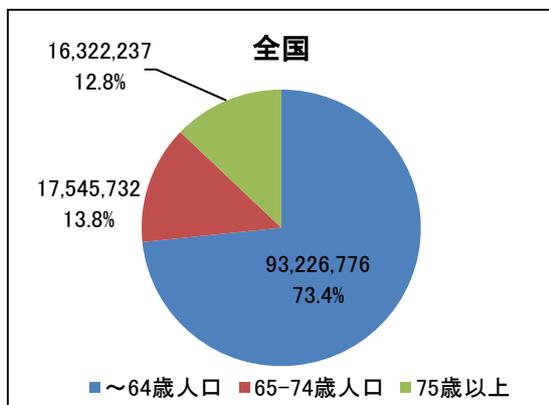
図表1 人口動態

二次医療圏	2015年人口	2015年65歳以上人口	2015年75歳以上人口	高齢化率	偏差値 *全国は標準偏差	高齢者世帯数	うち夫婦世帯比率	うち独居世帯比率
全国	127,094,745	33,867,969	16,322,237	27%	(5%)	17,668,137	34%	34%
山城南	117,192	28,015	11,760	24%	45	14,163	44%	25%

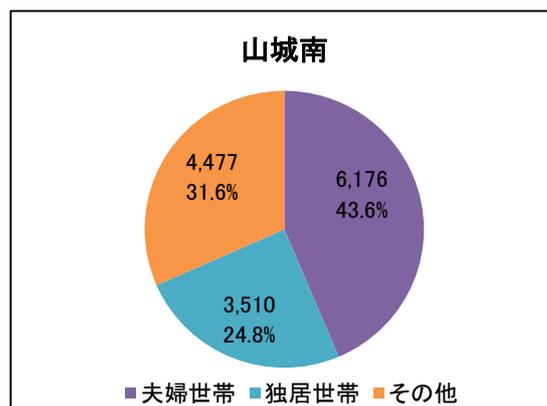
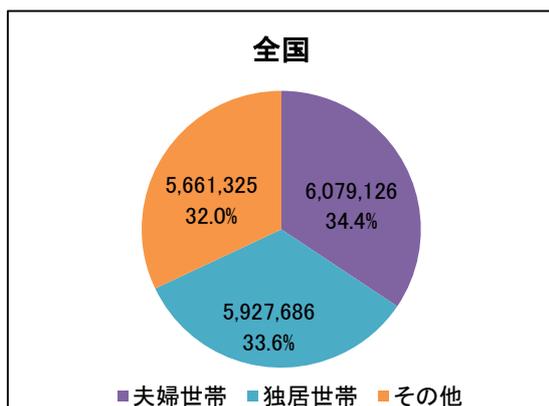
図表2 要介護者の現状

二次医療圏	要介護者数(認定者)	要介護認定率	偏差値 *全国は標準偏差	要介護3以上認定数	要介護3以上全認定者に占める比率	偏差値 *全国は標準偏差
全国	4,560,102	13%	(2%)	2,197,477	48%	(3%)
山城南	3,479	12%	44	1,782	51%	59

図表3 人口動態



図表4 世帯の状況



山城南

■ 医療・介護の需要(人口動態)

図表5に示すように、山城南の65歳以上人口のピークは2045年、65-74歳人口のピークは2045年、75-84歳人口のピークは2030年、85歳以上人口のピークは2040年と推計されている。75歳以上人口は、2015年が11,488(8,060+3,428)人であるが、ピーク時の2045年には21,135人まで増加すると推計され、2015年比84%増加する。

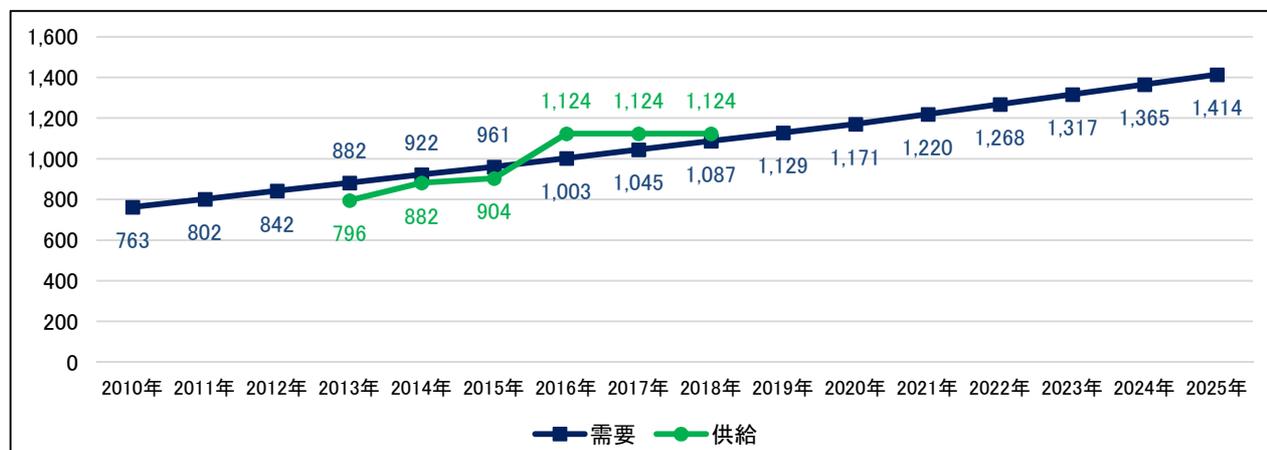
全国平均の年齢階級別高齢者施設利用率を用いて推計した高齢者施設の需要によると、山城南の施設需要のピークは2040年の2,060人であり、2015年の961人と比べ、114%増加すると推計された。

図表5 人口構成と高齢者施設需要の推移



図表6は、山城南の高齢者施設に関する2010年から2025年までの需要(必要ベッド数)予測と2014年から2018年までの供給量(高齢者施設の総ベッド数)の推移を表す。2014年は需要922人、供給882人と「供給<需要(-4%)」である。2018年は需要1,087人、供給1,124人と「供給>需要(+3%)」である。山城南の高齢者施設の供給は、2014年から2018年にかけて、需要と供給が拮抗する状況が続いている。

図表6 高齢者施設の需要と供給の推移予測



山城南

■ 介護施設の状況

総高齢者施設・住宅定員数(介護療養病床含む)合計は、1,124人(75歳以上1,000人当たりの偏差値53)と全国平均レベルをやや上回る。そのうち、介護保険施設の定員が590床(偏差値41)、高齢者住宅等が534床(偏差値63)である。介護保険施設は全国平均レベルを下回るが、高齢者住宅等は全国平均レベルを上回る。

施設別の75歳以上1,000人当たり定員数の偏差値は、老人保健施設41、特別養護老人ホーム48、介護療養型医療施設なし(偏差値41)、有料老人ホーム71、軽費ホームなし(偏差値43)、グループホーム43、サ高住(特定施設)なし(偏差値43)である。

高齢者施設・住宅に勤務する介護職員が偏差値47と全国平均レベルをやや下回り、高齢者施設・住宅に勤務する看護師が偏差値43と全国平均レベルを下回る。

図表7 総高齢者施設・住宅定員数、介護保険施設定員(病床)数、高齢者住宅定員数

二次医療圏	総高齢者施設・住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護保険施設定員(病床)数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	高齢者住宅定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,485,377		91	(15.2)	1,001,413		61	(12.4)	483,964		30	(12.6)
山城南	1,124	4.0%	96	53	590	2.8%	50	41	534	7.9%	45	63

図表8 老人保健施設(老健)定員数、特別養護老人ホーム(特養)定員数、介護療養病床数

二次医療圏	老人保健施設(老健)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	特別養護老人ホーム(特養)定員数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護療養病床数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	366,589		22	(5.9)	575,180		35	(9.9)	59,644		3.7	(4.0)
山城南	200	2.8%	17	41	390	3.5%	33	48	0	0.0%	0	41

図表9 有料老人ホーム定員数、軽費ホーム定員数、グループホーム定員数

二次医療圏	有料老人ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	軽費ホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	グループホーム	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	237,141		14.5	(10.8)	23,297		1.4	(2.1)	201,436		12.3	(5.8)
山城南	435	14.6%	37.0	71	0	0.0%	0	43	99	3.3%	8.4	43

図表10 サービス付き高齢者専用賃貸住宅(サ高住)定員数

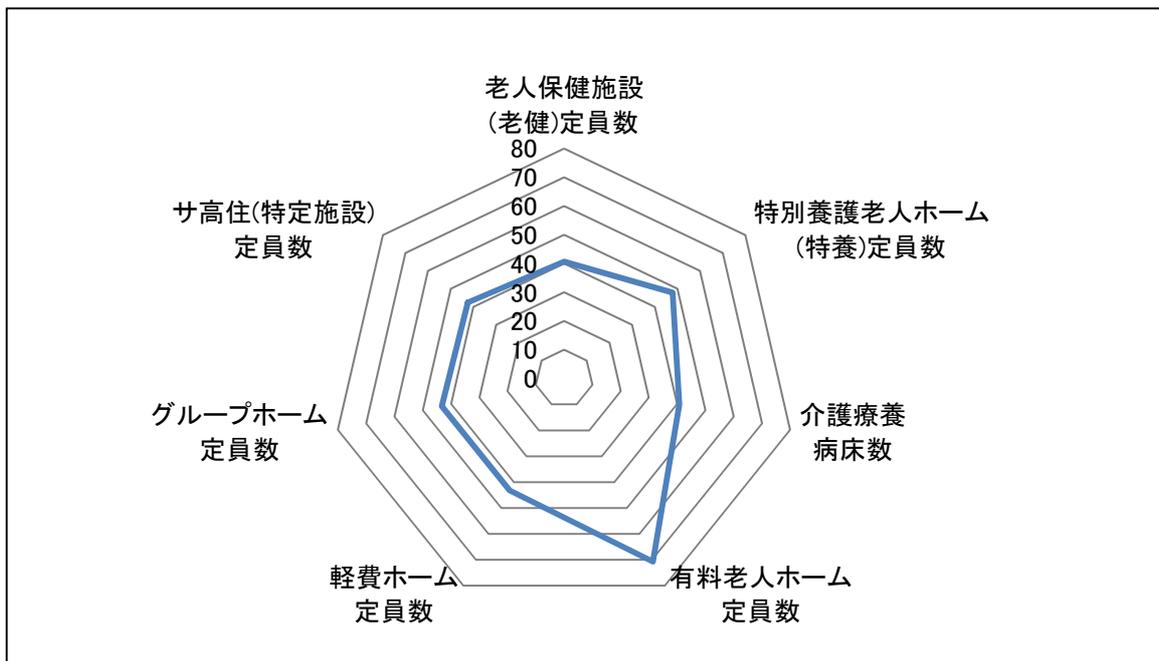
二次医療圏	サ高住(特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	※参考値			
全国	22,090		1.4	(1.8)	サ高住(非特定施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
山城南	0	0.0%	0	43	209,785		12.9	(6.8)
					48	1.0%	4.1	37

図表11 介護サービス従事介護職員数(介護施設等)、介護サービス従事看護師数(介護施設)

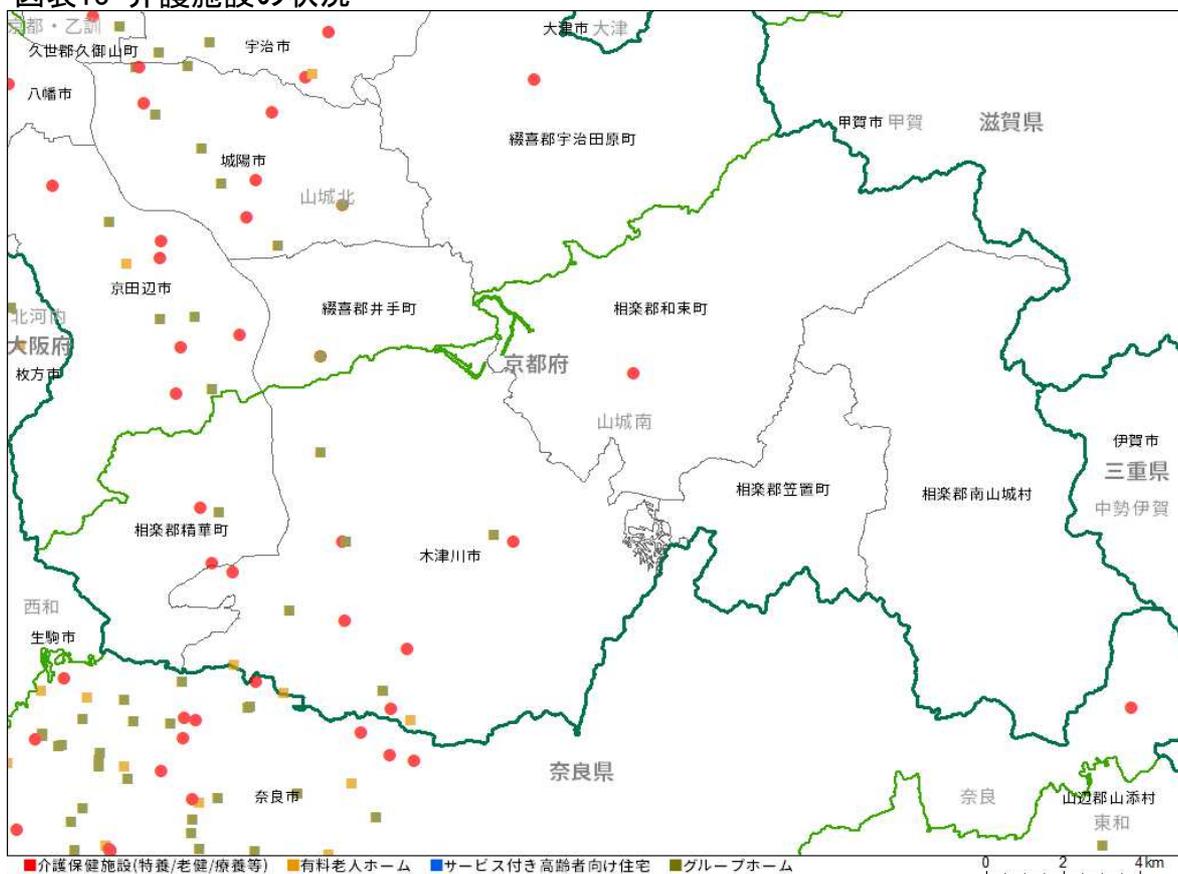
二次医療圏	介護職員数(介護施設等)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(施設)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,286,309		79	(11)	120,155		7.4	(2.0)
山城南	893	3.6%	76	47	71	2.8%	6.1	43

山城南

図表12 介護施設定員数（75歳以上1,000人当りの偏差値）



図表13 介護施設の状況



山城南

■ 在宅支援の状況

75歳以上人口当たり在宅療養支援病院はなし(偏差値38)である。在宅療養支援診療所数は偏差値57と多い。

人口当たり回復期病床は偏差値55とやや多い。人口あたり地域包括ケア病棟は偏差値48と全国平均レベルである。

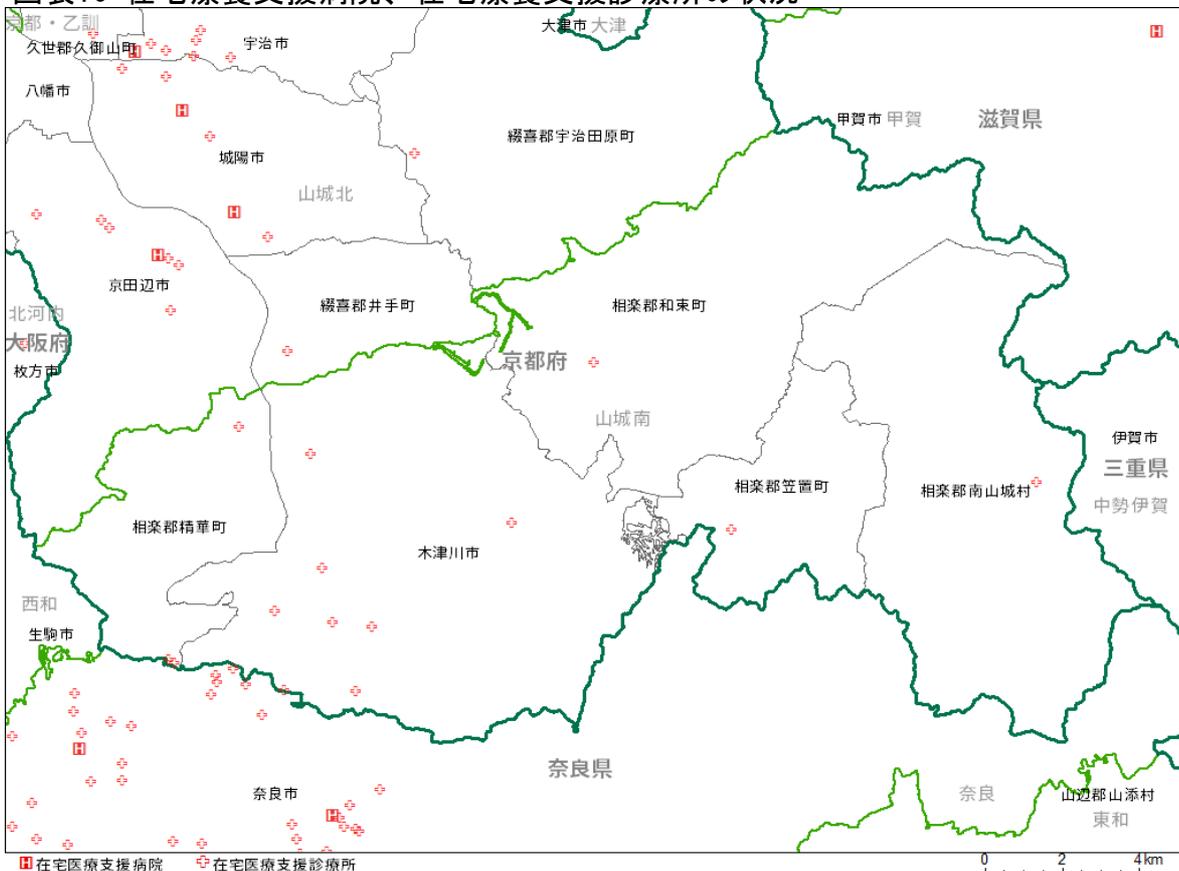
図表14 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所

二次医療圏	在宅療養支援病院	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差	在宅療養支援診療所	県内シェア	75歳以上1,000人当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	1,386		0.1	(0.1)	14,224		0.9	(0.4)
山城南	0	0.0%	0	38	14	4.0%	1.2	57

図表15 回復期病床数、地域包括ケア病棟病床数

二次医療圏	回復期病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差	地域包括ケア病床数	県内シェア	人口10万当り	偏差値 *全国は標準偏差
全国	80,806		63.6	(46.5)	73,895		58.1	(57.2)
山城南	100	5.2%	85.3	55	57	3.5%	48.6	48

図表16 在宅療養支援病院、在宅療養支援診療所の状況



山城南

■ 訪問介護の状況

居宅サービスは、訪問介護の事業所数が75歳以上1,000人当たり偏差値38と少なく、訪問看護が偏差値74と非常に多く、通所介護が偏差値39と少ない。通所リハが偏差値40と少なく、訪問入浴が偏差値55とやや多く、短期入所が偏差値48と全国平均レベル、居宅介護支援が偏差値51と全国平均レベルである。訪問介護利用者数は偏差値56と多い。

在宅介護に勤務する介護職員が偏差値37と全国平均レベルを下回り、訪問看護に従事する看護師が偏差値62と全国平均レベルを上回る。

図表17 居宅サービス事業所数

二次医療圏	訪問介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問看護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	通所介護	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	33,714		2.1	(0.8)	10,994		0.7	(0.2)	45,167		2.8	(1.0)
山城南	13	2.2%	1.1	38	14	4.8%	1.2	74	20	3.2%	1.7	39

二次医療圏	通所リハ	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	訪問入浴	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	短期入所	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	7,541		0.5	(0.2)	1,999		0.1	(0.1)	10,499		0.6	(0.3)
山城南	3	2.1%	0.3	40	2	3.7%	0.2	55	7	3.7%	0.6	48

二次医療圏	居宅介護支援	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	40,664		2.5	(0.6)
山城南	30	3.7%	2.6	51

図表18 訪問介護利用者数、介護サービス従事介護職員数（在宅介護）、介護サービス従事看護師数（訪問看護）

二次医療圏	訪問介護利用者数	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	介護職員数(在宅)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差	看護師数(訪問)	県内シェア	75歳以上1,000人当たり	偏差値*全国は標準偏差
全国	1,218,955		74.7	(26.5)	221,659		13.6	(5.6)	51,613		3.2	(1.1)
山城南	1,065	3.5%	90.6	56	71	1.5%	6.0	37	53	4.1%	4.5	62

図表19 居宅サービス事業所数（75歳以上1,000人当りの偏差値）

